LIXIL
INAX

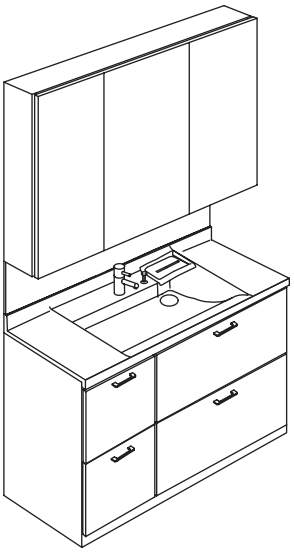
保証書付

洗面化粧台

ソレスタ-M

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書と、水栓や機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

取付業者様へ
取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

はじめに
品番を調べる ……1
各部のなまえ ……2
ソコまでてまなし排水口について…3
安全上のご注意 ……5
使用時のご注意 ……13

ご使用方法
ご使用方法 ……15
●排水栓を開閉する ……18
●コンセントを使う……18
●棚板の取付け・取外し……19
●キャビネットを使う ……20
●スマートポケットの使い方取外し・取付け 21
お手入れ方法 ……23
●排水口（ヘアキャッチャー）……24
●水受けタンク……24

長くお使いいただくために
長くお使いいただくために….25
●吐水量が少なくなったと感じたら…25
●吐水量が適切でないと感じたら ….27
●蛍光灯とグローランプの交換 ……29
●扉の開閉が滑らかでないと感じたら…30
●スチール製引出し（グレー色）の調節方法 34
●スチール製引出し（アイボリー色）の調節方法 35
●スチール製引出し（白色）の調節方法 ‥36
●感震ロックの調節（オプション）…..37
冬期凍結の恐れのある場合….38

アフターサービス
故障かな？と思ったら……42
仕様……44
アフターサービスについて …45

保証書……50

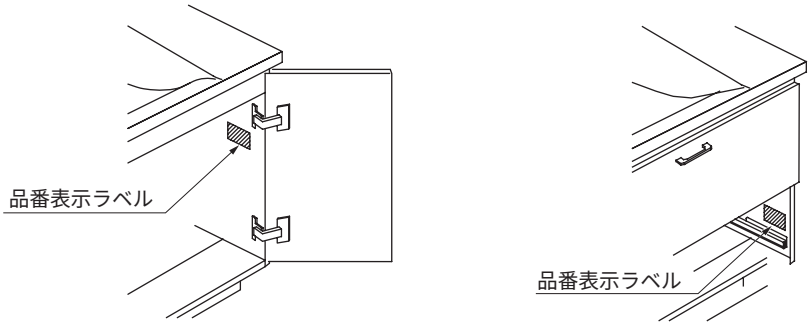
品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

●品番を調べるには商品に貼ってある「品番表示ラベル」を確認します。
●お問い合わせの際は「品番表示ラベル」に記載された品番および製造番号をお知らせください。

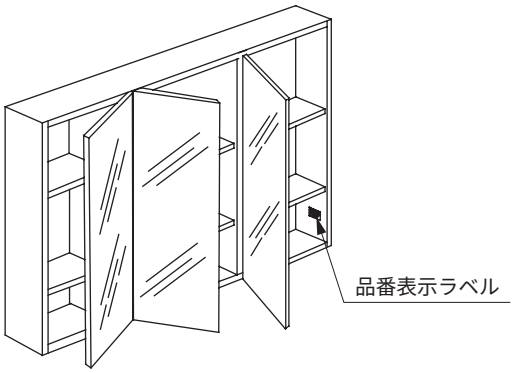
■ベースキャビネット

キャビネット本体内部に貼ってある「品番表示ラベル」で品番を確認してください。
※キャビネットのタイプによっては左右反転した位置に貼り付けている場合があります。



■ミラーキャビネット

キャビネット本体内部の右下に貼ってある「品番表示ラベル」で品番を確認してください。

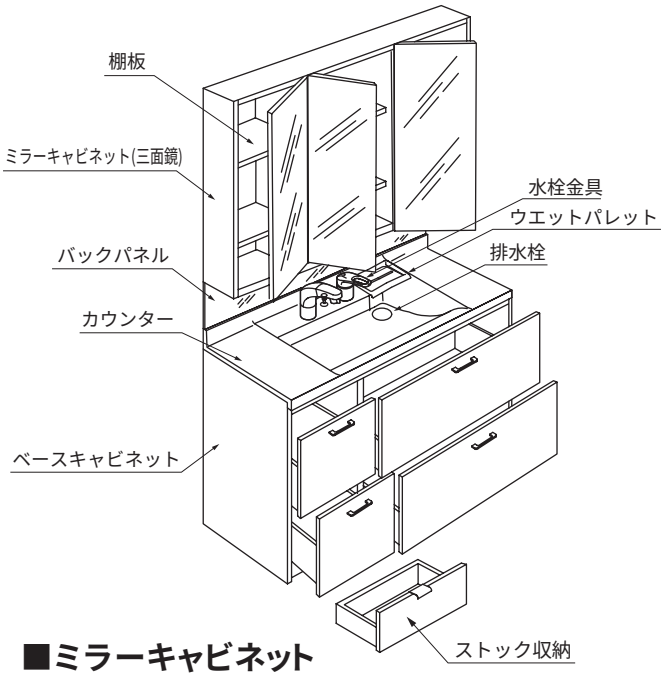


各部のなまえ

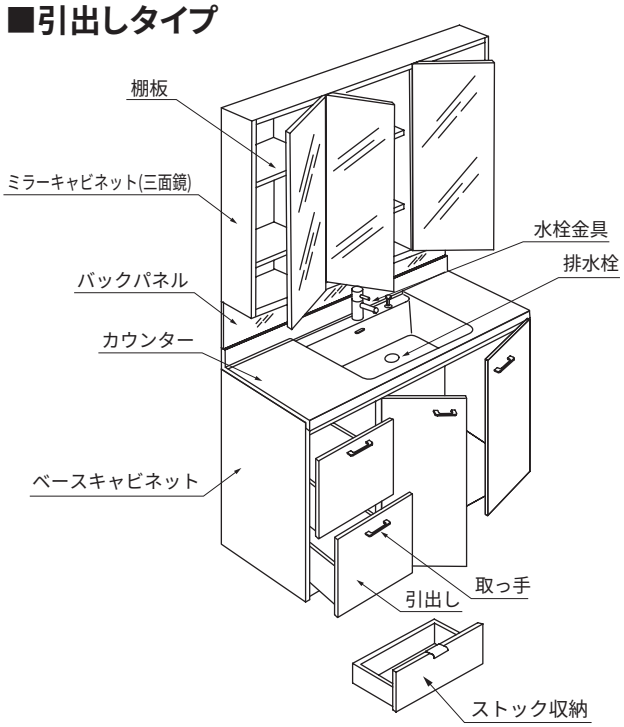
●商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
●図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

各部の名称

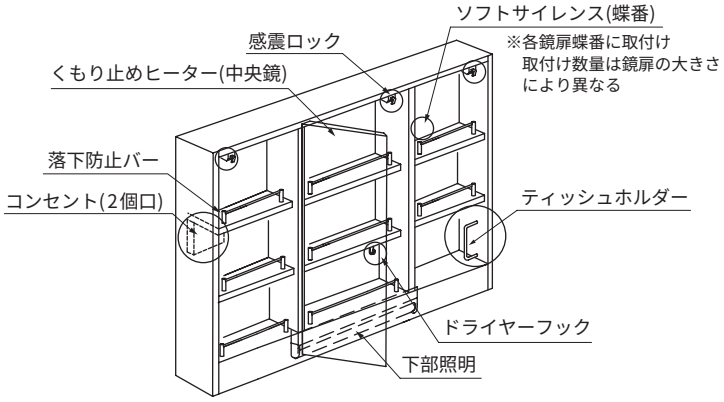
■フルスライドタイプ



■引出しタイプ



■ミラーキャビネット



※図は鏡扉を除いた状態です。

※感震ロック（オプション）とは

万一の地震（震度4～5程度から）の揺れに対し、自動的にロックがかかり、収納物の不意な飛び出しを防止する機構です。

⚠ 注意

●感震ロックは、全ての地震（小さな震度の場合等）に対して、ロックが作動するものではありません。また、びん等が倒れ扉に当たった程度の揺れに対しても、作動しません。

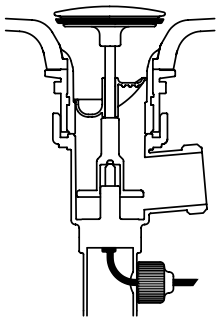
●ロック機構は、建物の構造、収納物の収納状況（積載過多）、ユニットの使い方等により性能を十分に発揮しない場合があります。

ソコまでてまなし排水口について

「ソコまでてまなし排水口」のしくみ

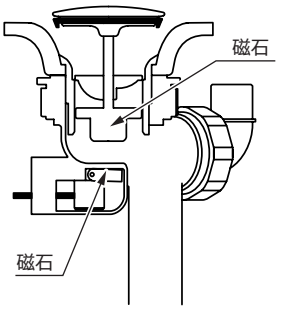
磁石の反発力を利用して排水栓の開閉を行うことで、従来は開閉のために必要であった機構部の突起がなくなり、排水口内を簡単に拭き掃除できる形になりました。

〈従来の排水栓の開閉〉

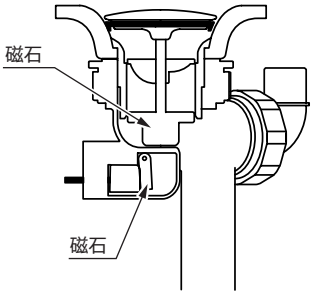


排水栓を下から押し上げて
開閉していました。

〈ソコまで手間なし排水口の場合〉



磁石を近づけて、磁石同士の反発で
排水栓をあけます。



磁石を離して、磁石の反発力をなくし
排水栓をしめます。

※排水栓は排水口内で浮いています。使用中にゆれる事がありますが、故障ではありません。

ご使用時の注意

**●心臓ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人に排水栓を近づけないでください。
安全性の確認については、電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。**
**●排水栓と磁石または排水栓と鉄片などの磁性体の間には、非常に強い吸着力が働きます。
手指や体の一部分を挟まれないよう、十分ご注意ください。**
●排水栓を磁気カードなどの磁気記録媒体に近づけると、データが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。また、パソコン、テレビ画面、電子腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因になる可能性があります。
●排水栓を他の磁石にくっつけないでください。磁力の強さ、磁石の種類によっては、磁力が低下し機能を十分果たさなくなる可能性があります。
●排水栓に鉄粉や鉄片を付着したままにしないでください。サビの原因になり、排水栓の動きも悪くなります。
●排水栓の操作を勢いよく行わないでください。排水栓が飛び出す恐れがあります。

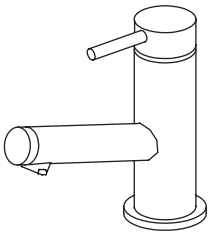
お手入れ方法

■日々のお手入れ

排水栓の磁石部に鉄粉や鉄片が付着している場合は、乾いた布などで付着物をつまみ取るように取り除いてください。変色や作動不良の原因になります。

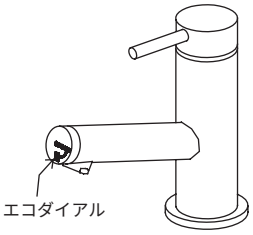
水栓の種類

※記載以外の水栓設置の場合は、水栓付属の取扱説明書をご確認ください。



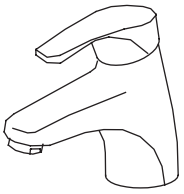
シングルレバー
混合水栓
（eモダンエコダイアルなし）

LF-E340SC(N)-KD4



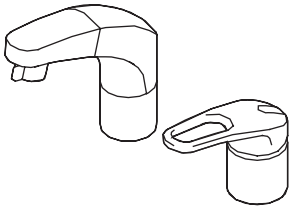
シングルレバー
混合水栓
（eモダンエコダイアルあり）

LF-E340SYC(N)-KD3



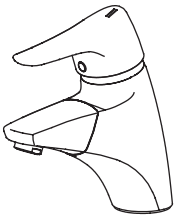
シングルレバー
混合水栓
（ピーフィット）

LF-B340SYC-KD3



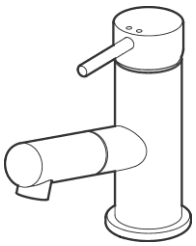
シングルレバー
シャワー水栓

SF-810SY(N)-KD3



吐水口引出式
シングルレバー
混合水栓
（ジュエラ）

LF-J345SYC(N)-KD

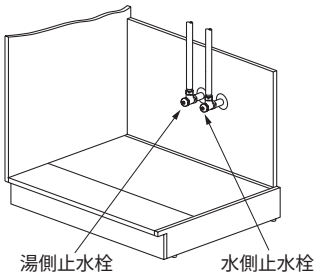


吐水口引出式
シングルレバー
混合水栓
（eモダン）

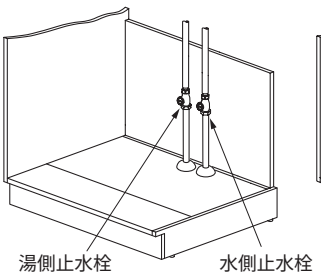
LF-E345SYC(N)-KD

配管部材の名称

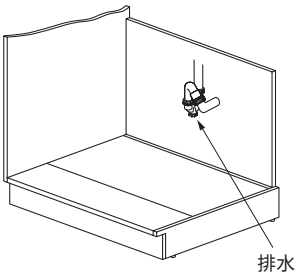
●壁給水



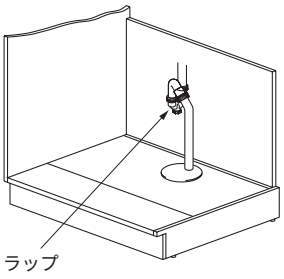
●床給水



●壁排水



●床排水



安全上のご注意（必ずお守りください）

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**……この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**……この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

……この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

……この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

……この絵表示は触っていけない「禁止」の内容です。

……この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

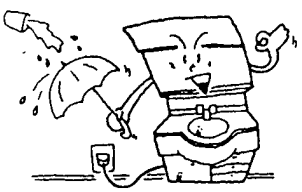
……この絵表示は電源プラグをコンセントから抜いていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

スイッチやコンセント、電源プラグなどの電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。

※漏電や感電の恐れがあります。

※水がかかったら必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などでふきとってご使用ください。



照明（蛍光ランプ）を交換する場合は必ず照明スイッチを切ってから行ってください。（照明の交換については、29ページ「長くお使いいただくために」をご覧ください。）

※感電の恐れがあります。

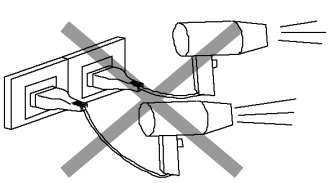
改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※感電や発熱・発火による火災の恐れがあります。

●コンセントは使用電力の合計が1300Wを超えないようにご使用ください。

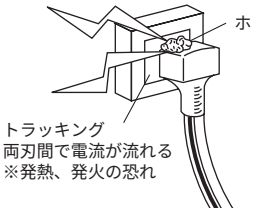
●ドライヤー・ヘアーアイロン・暖房器具など使用電力（ワット）の大きい電気製品を同時に使用しないでください。

※ミラーキャビネットの配線が発熱・発火により焼損する恐れがあります。

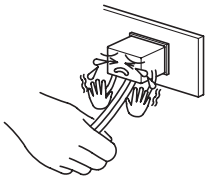


⚠ 注意

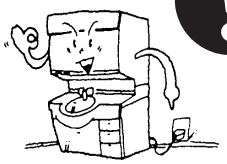
電気機器の電源プラグは、定期的にコンセントから抜き乾いた布でホコリや湿気をふき取ってください。
※ホコリや湿気がたまると、トラッキングによる火災の恐れがあります。



電源プラグを抜くときはコード部分を引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜いてください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。



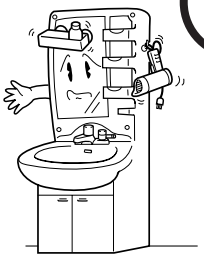
電源は必ず適性配線された専用の100Vコンセントから取ってください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。



電源コードは束ねたまま使用しない。必ず延ばした状態でご使用ください。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。

商品がガタついたり、破損や故障した場合はただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。
※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガの恐れがあります。
46ページ をご覧のうえ、点検・修理を依頼してください。
※電気機器が組み込まれた化粧台では使用中止の際に必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

鏡や本体に市販のフック吸盤などを取り付けない。
※本体の破損や取付け物の落下により、ケガをする恐れがあります。

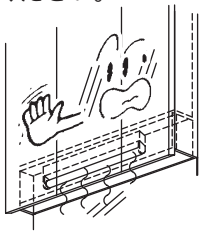


扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調整や付けなおしを行ってください。
※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
（扉の調整・取付けは30〜32 ページをご覧ください。）

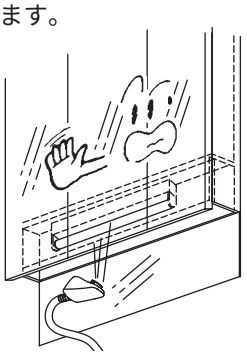
洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。
※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。
※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

ランプの点灯中および消灯直後はランプに触らない。
※ランプが熱くなっており、ヤケドをする恐れがあります。
ランプの交換は、照明器具が十分に冷めてから行ってください。

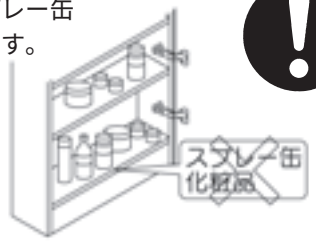


ランプに水をかけない。
※ランプが割れ、ケガをする恐れがあります。

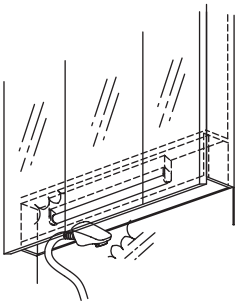


⚠ 注意

下部照明やくもり止めヒーターは長時間つけたままにしないで下さい。
※中央の収納ボックスの最下段と中央ミラー裏周辺の温度が上がります。
また、中央の収納ボックスの最下段には化粧品やスプレー缶の保管は避けてください。
※化粧品の変質やスプレー缶破裂の恐れがあります。

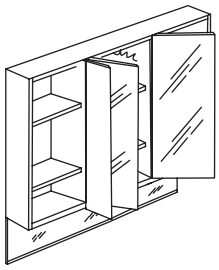


ランプに物を当てない。
※ランプが割れ、ケガをする恐れがあります。

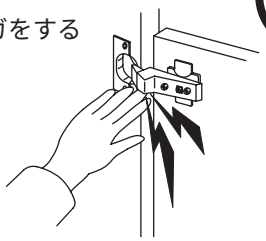


次のような異常があった場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。
※扉が脱落してケガをする恐れがあります。
●蝶番付近のガタツキが大きくなった。
●蝶番の動きが悪くなった。（開閉が急に固くなった、急にゆるくなった。）

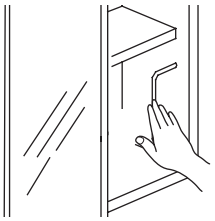
3面鏡をご使用の際、中央鏡と袖鏡を同時に開けない。
※扉同士が接触して破損し、ケガをする恐れがあります。



扉を開閉する際、蝶番部に触らない。
※指をはさみ、ケガをする恐れがあります。



ティッシュホルダーを前から押さない。
※破損する恐れがあります。



ドライヤーフックに物を掛けすぎない。
※破損や落下により、ケガをする恐れがあります。

ベンジンやシンナー等の有機溶剤を使用しない。
洗剤類、薬剤はそれぞれ使用上の注意に従うこと。
※誤った使用により商品が変形・破損しケガをする恐れがあります。

照明（蛍光灯）の使用上の注意
●蛍光灯は5℃から40℃の範囲でお使い下さい。
●器具に指定されている電圧の±6%の範囲内でご使用ください。
●点灯時は数秒間チラツキを発生することがありますが異常ではありません。
※電源の電圧が低くなったり、周囲温度が低い場合などは、蛍光灯の放電が不安定になってチラツキを発生することがあります。

⚠ 注意

キャビネット内では塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや、扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。
塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。
キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください。

排水口に有機溶剤や薬品を流さない。

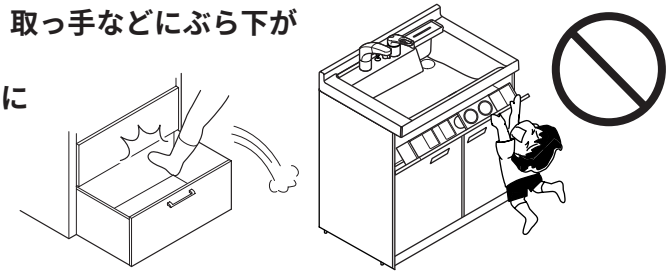
※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤などが付着したまま放置しない。

※化粧品や洗剤の中に樹脂（プラスチック）に悪影響を与えるものもあります。
※放置するとヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。すぐにふき取ってください。

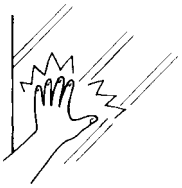
●カウンターや引出しに乗ったり、開いた扉、取っ手などにぶら下がったりしない。
●スマートポケットタイプキャビネットの手前に乗ったりぶら下がったりしない。

※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



鏡に手をついたり、たたいたりしない。

※無理な力をかけると鏡の割れや脱落により、ケガをする恐れがあります。



扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れてケガをする恐れがあります。

凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。

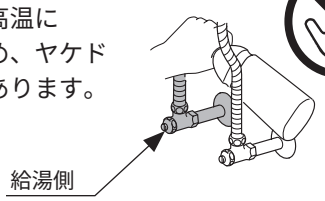
●水抜き栓がない場合…水栓から少量の水を出したままにしてください。
●水抜き栓がある場合…建築側配管と水栓の水抜き操作を行ってください。（38～41ページ参照）
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、拡大損害発生の恐れがあります。

水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

※水栓金具が破損･脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



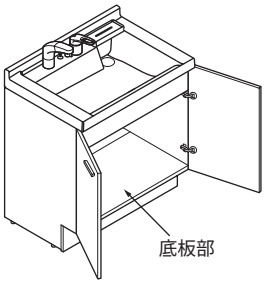
金属部品（水栓、オーバーフローカバー等）に対してカビ取り剤や排水パイプ洗浄剤、ハイター等の塩素系洗剤は使用しないでください。

※変色、破損の恐れがあります。

⚠ 注意

●底板部にものを入れすぎない。
ベースキャビネットの許容積載量10kgです。
許容積載量を守ってご使用ください。

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。
※底板がたわみ、収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。



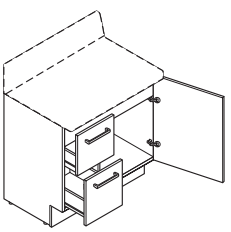
ベースキャビネット

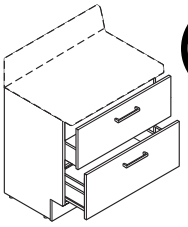
●引出しにものを入れすぎないでください。

※引出しが出し入れしにくくなったり、レールが故障する原因となったり、またケガをする恐れがあります。

許容積載量
引出タイプ：1段あたり4kg以下
その他：引出底面100cm²あたり0.5kg以下

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。


引出タイプ
4kgまで

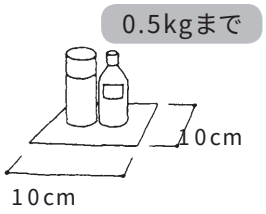

その他
引出し100cm²あたり0.5kgまで

●棚やトレイに物を乗せすぎない。
許容積載量を守ってご使用ください。

※棚などが破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

許容積載量
10cm×10cm(100cm²)あたり0.5kg以下

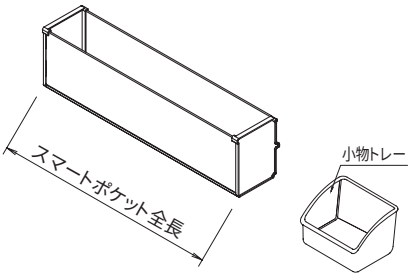
※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。



●スマートポケットに物を入れすぎない。
許容積載量を守ってご使用ください。

※収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。

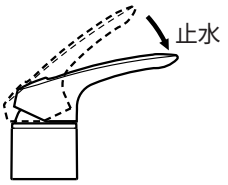
スマートポケット全長(cm)	許容積載量(kg)
19.7～29.7	0.5
34.7～47.5	1.0
59.7～62.5	1.5
72.5～74.7	2.0
84.7～104.7	2.5
小物トレー1個あたり	0.2



⚠ 注意

断水時は水栓のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。

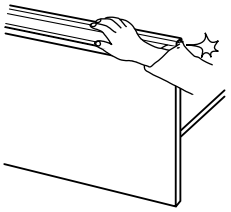


洗面器に熱湯を注がない。

※急激な温度変化により洗面器が割れて、漏水や拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

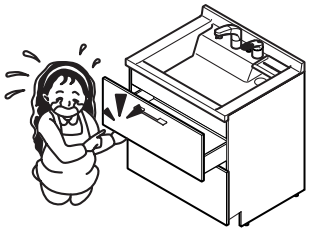
アルミレールの取っ手に手足をぶつけたり、衣服を引っ掛けたりしないでください。

※衣服が破れたり、ケガをする恐れがあります。



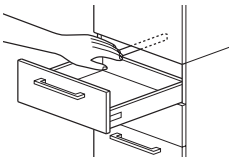
キャビネットの引出しを収める際には、勢いよく収めない。

※反動で引出しが飛び出し、ケガをする恐れがあります。



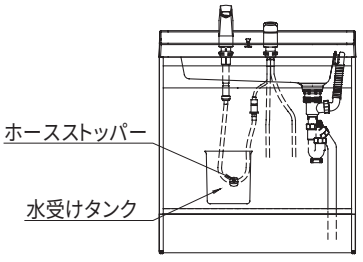
キャビネットのレールや蝶番に触らない。

※指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



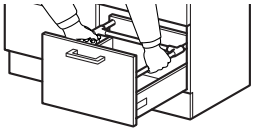
水栓金具のホーストッパーは位置をずらさない。

※ずらすと水受けタンクにホースがおさまらず、ホースが出し入れしにくくなったり、キャビネット内をぬらす恐れがあります。



引出しを取り外す際は、取り外した引出しを落下させないようにしっかりと引出し側板部を持ってください。また、サイドギャラリー付引出しの場合は左右のパイプを持たないようにしてください。

※サイドギャラリーが外れて引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。



引出しを取り付けた後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている（ガタつき・異常音がしないか）ことを確認してください。

※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

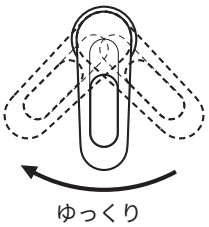
⚠ 注意

水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったりして無理な力をかけない。

※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

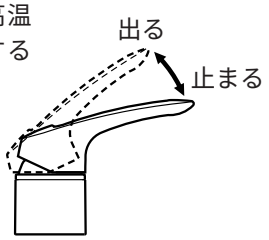
湯を使うときは、水を出しながらレバーハンドルをゆっくりと水側から湯側へ回してください。

※急に回すと湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。



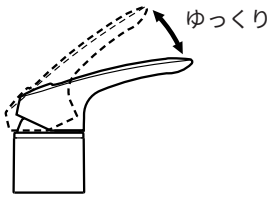
高温のお湯を使った後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。

※次に使うときにいきなり高温のお湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



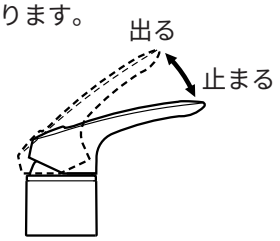
レバーハンドルはゆっくり操作してください。

※急に開閉すると、急激な圧力変動により配管が破損し、漏水や家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。



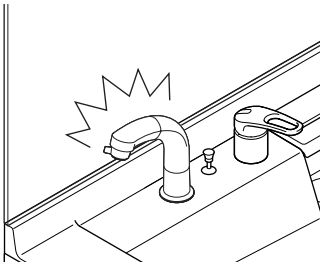
断水時は水栓のハンドルを止水の位置にしてください。

※ハンドルが吐水位置のままで断水が終了すると水があふれ、漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



吐水口部を回転させる際には、鏡に当たらないようゆっくり操作してください。

※吐水口部は360°回転します。急に回転すると、吐水口に鏡があたり、キズつく恐れがあります。



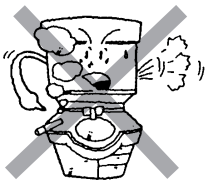
使用時のご注意

故障をおこさないために、守っていただきたい内容です。

お願い

ヒーター等の熱源やタバコ、マッチ等の火気を近づけない。

※変形やコゲ跡がつく原因となります。



キャビネットはぬれたまま放置しない。濡れたらすぐにふいてください。

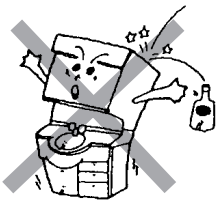
※扉、引出し、ベースキャビネットの側面の木部が水を含んでふくらんだり表面がはがれる原因となります。

直射日光やスポット照明・殺菌灯を当てない。

※変色や変形の恐れがあります。
直射日光はカーテン等で必ずさえぎってください。

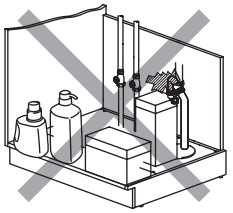
カウンターや洗面器に硬いものを落とさない。

※キズやヒビ割れ、破損の原因になります。



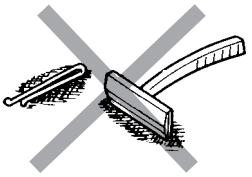
キャビネットの中にものをたくさん入れすぎないでください。

※収納物が配管に当たり、漏水する恐れがあります。
※引出しから収納物が後ろに落下して破損したり、配管に当たって漏水する恐れがあります。



金属類を放置しない

※サビが付着して取れなくなる場合があります。



●洗面ボウル、洗面器の排水口に小さなものを流さない。

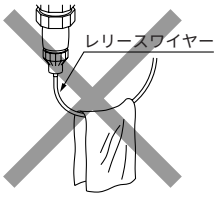
・コンタクトレンズ　・指輪　・キャップ

※排水管が詰まり、排水があふれる原因となります。

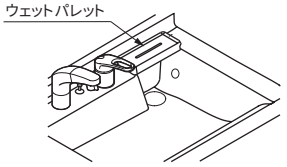
●誤って排水口に落としてしまった場合は、水を流す前に排水口・排水トラップから拾い出してください。

排水栓のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。
また、収納物が接触しないよう気をつけてください。

※レリースワイヤーが切断、破損して排水栓が開閉できなくなる場合があります。



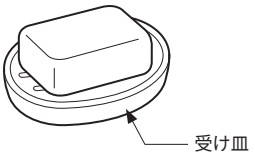
ウェットパレットがすべりやすい場合は、ウェットパレットとカウンターの接する面を清掃してください。



お願い

●カウンターや洗面ボウルに直接石けん置かないでください。
必ず受け皿を使用してください。
●ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、
こまめにふき取ってください。

※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、カウンターが変色したり光沢がなくなる恐れがあります。

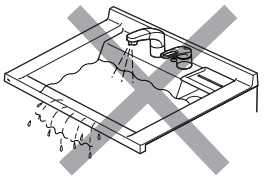


けこみ収納の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。

※キャスターに糸がからみ、引出しが動きにくくなる恐れがあります。

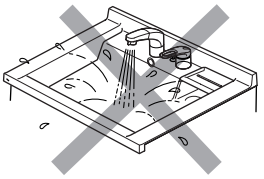
水ためは「整流」で行ってください。

※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる場合があります。



水はねが多い場合は吐出流量を調整してください。

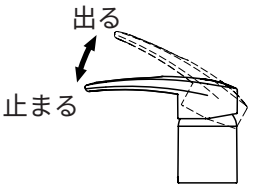
※調整方法は27ページをご覧ください。



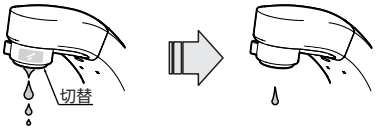
シングルレバーシャワー水栓（SF-810SY（N）-KD3）の場合

■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると左右どの位置にあっても止水します。

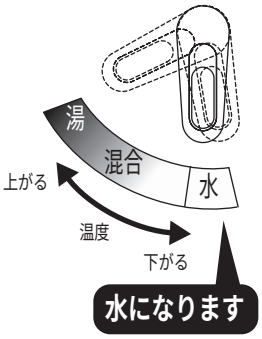


レバーハンドルを閉じて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替の内部に溜まった少量の水が排出されます。



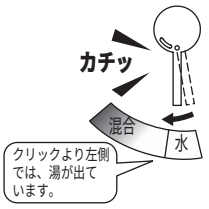
■温度を調節する

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。



ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

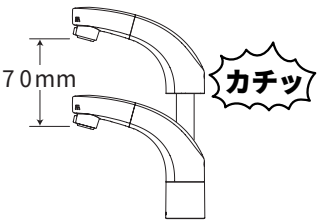


⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

■吐水口の高さを変える

吐水口部を握って、上または下に動かします。
上げる……カチッと音がするまで引き上げます。（約70mm上がります）
下げる……完全に下まで降ろします。

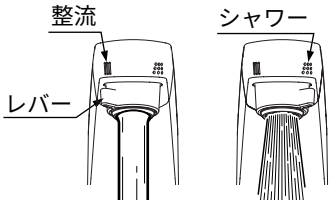


⚠ 注意

吐水口は一番上または一番下の高さでご使用ください。
※途中の位置でご使用されますと、カウンター下へ水が侵入したり、一番上の高さで固定できなくなることがあります。

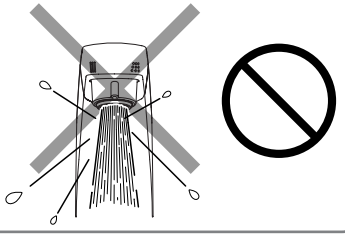
■整流吐水、シャワーを切り替える

切り替えは止水した状態でおこなってください。
整流吐水使用の時：吐水口のレバーを左側に動かす。
シャワー使用の時：吐水口のレバーを右側に動かす。



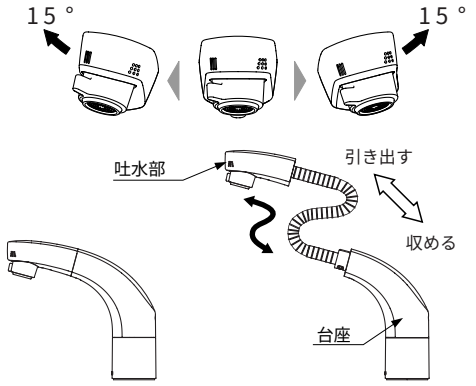
ワンポイント

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。
※中間位置で吐水すると、吐水が乱れて周囲に水が飛び散りますのでご注意ください。



■吐水口の向きを調節する

吐水口のヘッド部分を回すと、吐水口の向きが変わります。
左右15°ずつ、計30°回転します。
お好みの角度でご使用ください。

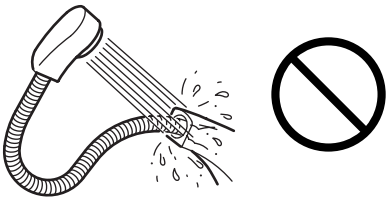


■吐水部を引き出す

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。

⚠ 注意

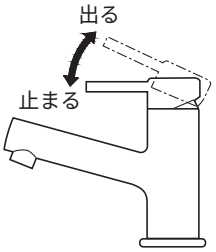
吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



シングルレバー混合水栓（LF-E340SC(N)-KD4）
シングルレバー混合水栓（LF-E340SYC(N)-KD3）の場合

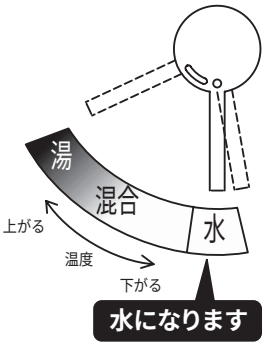
■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。



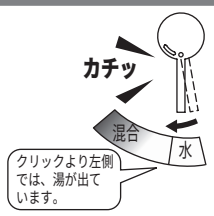
■温度を調節する

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。



ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。



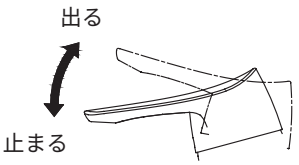
⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

吐水口引出式シングルレバー水栓（LF-J345SYC(N)-KD）シングルレバー混合水栓（LF-B340SYC-KD3）の場合

■吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。



■温度を調節する

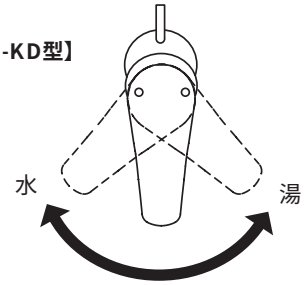
【LF-J345SYC（N）-KDの場合】

レバーハンドルを左方向に回すと吐出温度が上がり、右方向に回すと吐出温度が下がります。

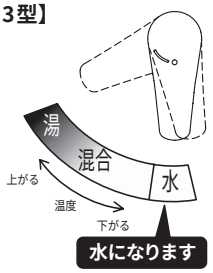
【LF-B340SYC-KD3の場合】

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐出温度が上がります。

温度調節
【LF-J345SYC（N）-KD型】

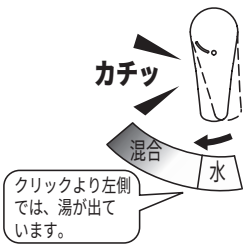


温度調節
【LF-B340SYC-KD3型】



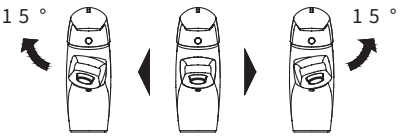
ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします



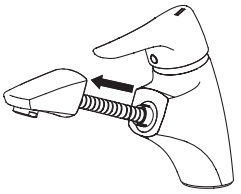
■吐水口の向きを調節する（LF-J345SYC-KDの場合）

吐水口のヘッド部分を回すと、吐水口の向きが変わります。
左右15°ずつ、計30°回転します。
お好みの角度でご使用ください。



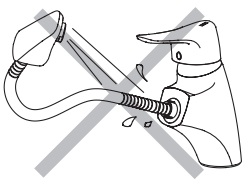
■吐水部を引き出す（LF-J345SYC（N）-KDの場合）

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。



⚠ 注意

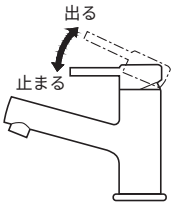
吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-E345SYC(N)-KD）の場合

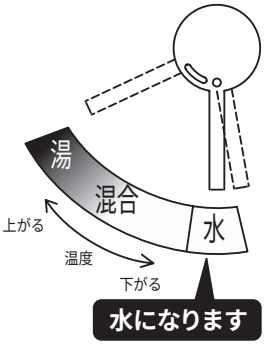
■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。



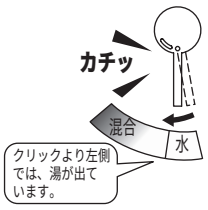
■温度を調節する

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。



ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

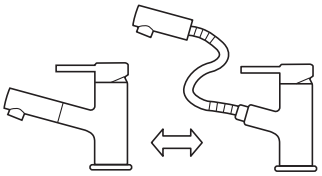


⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

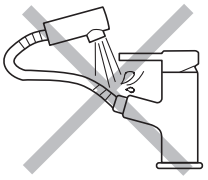
■吐水部を引き出す

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ず元に戻してください。



⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



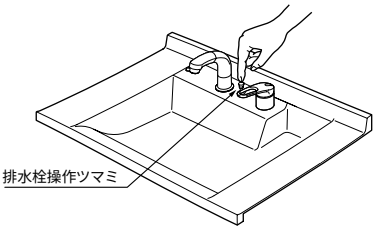
排水栓を開閉する

■排水栓を開く

排水栓操作ツマミを押します。

■排水栓を閉じる

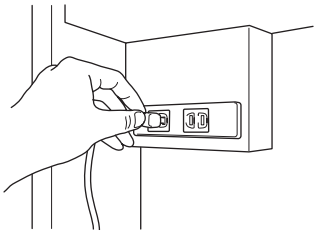
排水栓操作ツマミを引き上げます。



コンセントを使う（オプション）

プラグをまっすぐ差し込みます。
ミラーキャビネットにあるコンセントの使用電力は合計1300Wまでです。

内部コンセントをご使用される際、
キャビネットと扉の間にコードが挟まらないよう
扉を開けてご使用ください。



棚板の取付け・取外し

⚠ 注意

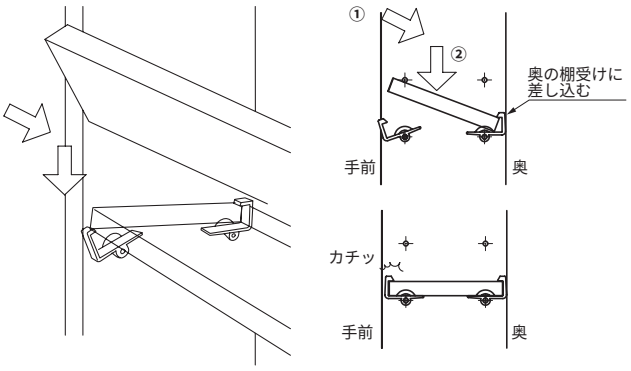
棚受けは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなく
しっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。
※差込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

棚板を取り付ける前に
キャビネット側面の取付穴に棚受け（1枚につき4個）をしっかり差し込みます。

棚板を取り付ける

① 棚板の奥側を棚受けに差し込みます。

② 棚板の手前を棚受けに合うように
棚板をはめ込みます。
カチッと音がなり、棚板がはめ込まれた
ことを確認してください。



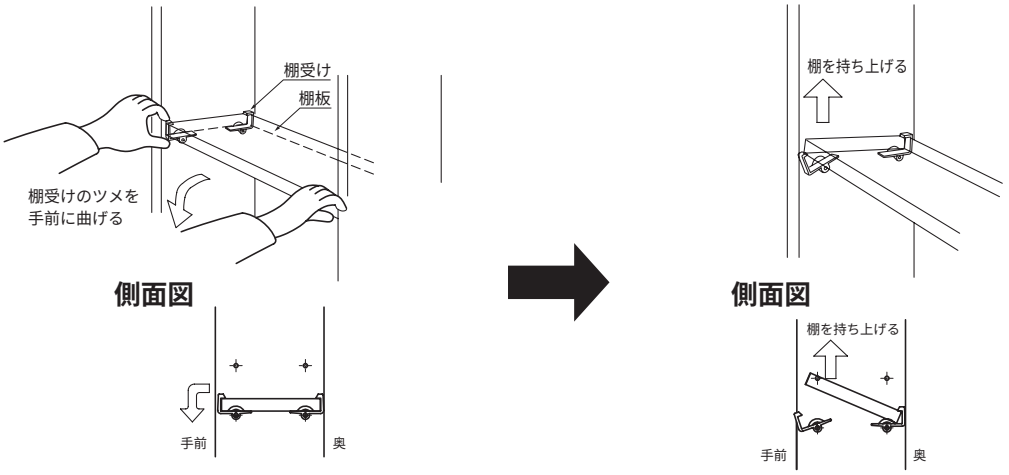
⚠ 注意

差込みが不十分ですと、
棚板が落下することがあります。
※破損やケガの恐れがあります。

棚板を取り外す

① 棚板の左右の棚受けのツメを手前に曲げながら、棚板の手前を上げます。

② 棚板をななめ上に引き抜きます。



⚠ 注意

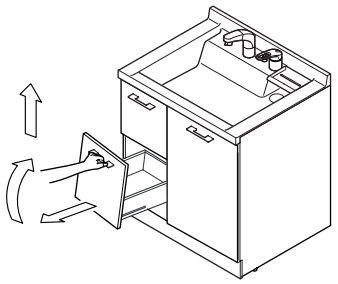
棚板がしっかりのっていないまま使用すると、
物品や棚板が落下することがあります。
※破損やケガの恐れがあります。

キャビネットを使う

スチール製引出し（白色、アイボリー色）タイプキャビネットの引出しを取外し・取付ける

■取り外す

①引出しを最後まで引き出します。
②取っ手を持ったまま、引出しを持ち上げて外します。



■取り付ける

取外し方の逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意

引出しを勢いよく引き出さないでください。
※引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。

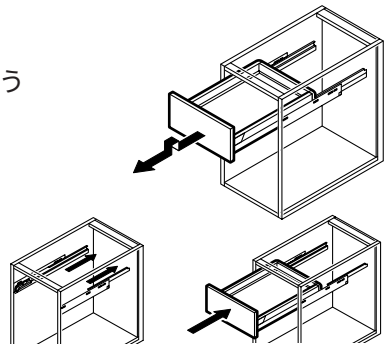
重いものを入れないでください。
※破損する恐れがあります。　※引出し1個あたりの許容積載質量は、4kgです。

ぬれたものを置かないでください。
※サビる恐れがあります。　※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれる恐れがあります。

スチール製引出し（グレー色）タイプキャビネットの引出しを取外し・取付ける

■取外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ（コンという音がしてロックが外れます）、さらに手前へ引き出します。



■取付ける

①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
②引出しを受けレールに載せ、奥まで押し込みます。
　その際、カチャカチッと音がしてロックされます。

⚠ 注意

引出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。

※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

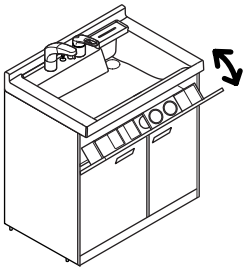
スマートポケットタイプキャビネットを開閉する

開ける

取っ手を持って手前下に開きます。
スローダウン機構により、ゆっくり開きます。

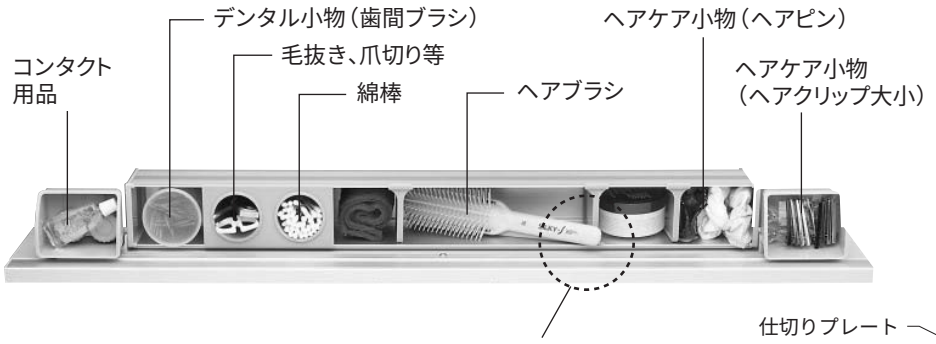
閉じる

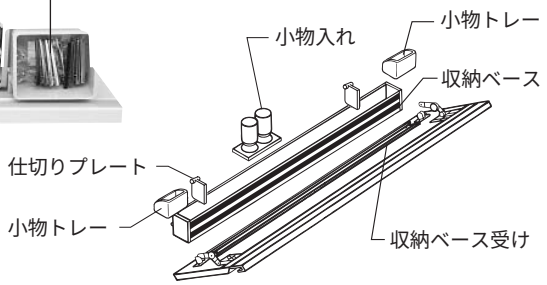
取っ手を持って閉じます。
スローダウン機構により、ゆっくり閉じます。



スマートポケットの使い方・取外し・取付け

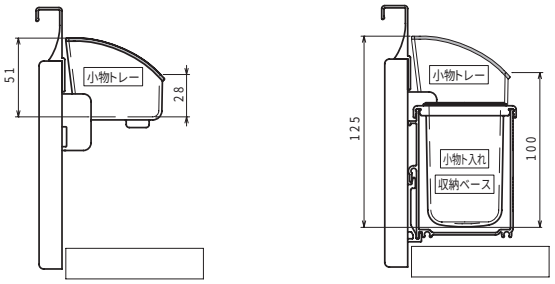
洗面台で散らかりがちな小物など、毎日よく使う物をスッキリ整理できます。収納場所がきちんと決められて、使うのも片づけるのもスムーズにできます。次に示す収納例を参考にしてください。





スマートポケット内部

スマートポケット内部の有効高さは、小物トレー上面の曲線にそった高さとなります。



仕切プレート数量

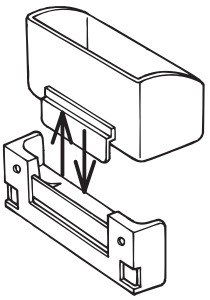
間口	仕切りプレート
90cm	2コ
85cm	2コ
70cm	2コ

内部部品の小物入れや仕切プレートは、収納物に合わせて動かすことができます。
内部部品は取外せるので、お手入れも簡単におこなえます。

●内装部品の外し方・取付け方

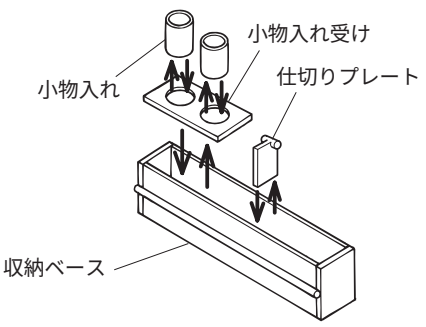
小物トレー

- 小物トレーは、上方向に引上げると外れます。
- 取付けの時は、逆の手順でおこないます。



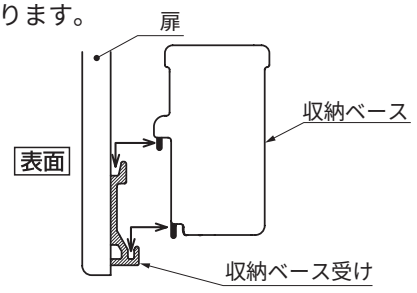
小物入れ・仕切りプレート

- 小物入れ受けや仕切りプレートを収納ベースから引上げると外れます。
- 取付けの時は、フック部が“カチッ”と音がするところまで差込んでください。
- 小物入れは、小物入れ受けに奥まで差込んで使用してください。



収納ベース

- 収納ベースは、収納ベース受けに引っかけています。上方向に引上げると外れます。
- 取付けの時は、収納ベース受けの溝（2ヶ所）に引っかけてセットしてください。
  ※扉内面にあててから下げるとセットしやすくなります。

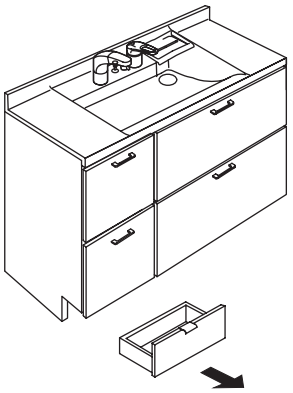


⚠ 注意

●収納ベースを直接カウンターの上におかない。
カウンターをキズつけるおそれがあります。

ストック収納の使い方

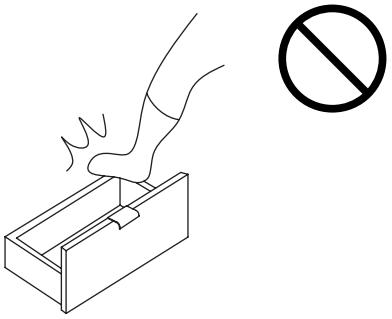
底面にキャスターが付いているので、
引出しの上方を持って前に引き出してください。



⚠ 注意

ストック収納に乗らないでください。
※動いてしまい転倒する恐れがあります。

ストック収納の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。
※キャスターに糸がからみ、動きにくくなる場合があります。

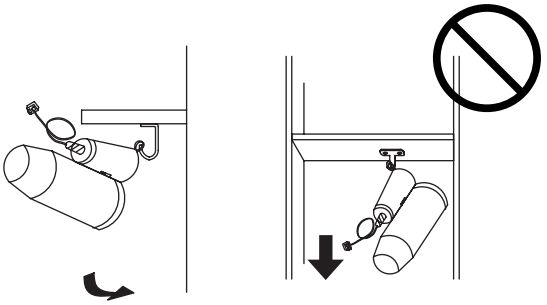


ドライヤーフックを使う（オプション）

棚板下に付いているドライヤーフックに
ドライヤーをかけます。

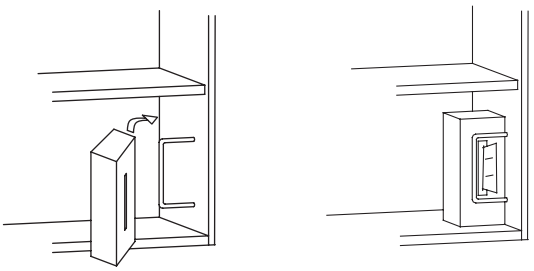
耐荷重は5kgです。
重いものをかけないでください。
※ドライヤーフックが脱落する恐れがあります。

ドライヤーをかけたまま下向きに引っ張らないでください。
※ドライヤーが脱落する恐れがあります。



ティッシュホルダーを使う（オプション）

ティッシュホルダーと背板の間にティッシュボックスを置いてください。
※右に寄せて使用します。
※ティッシュボックスは、ななめから差し込むと入りやすくなります。



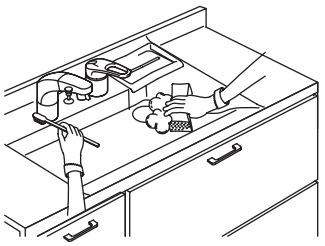
お手入れ方法

水栓金具・カウンター

■週に1度

①やわらかい布、またはスポンジに浴室用洗剤を付けて汚れを落とします。
※水栓の根元など細かい部分は、やわらかい歯ブラシでこすってください。

②洗剤が残らないよう、水で洗い流すか、やわらかいきれいな布で水ぶきします。



■汚れが目立つ場合

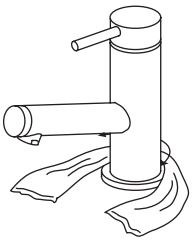
「週に1度のお手入れ」で落ちない水アカや金属石けん等の固着した汚れは、浴室用クリームクレンザーでこすり落とします。

①やわらかい布または歯ブラシに浴室用クリームクレンザーを付けて、汚れをこすり落とします。
※強い力でこするとキズが付く恐れがあります。クレンザーで4、5回磨いては水ぶきをくり返すと、力を入れずに汚れを落とせます。

②クレンザーが残らないよう、水で洗い流すかやわらかい布で水ぶきします。

ワンポイント

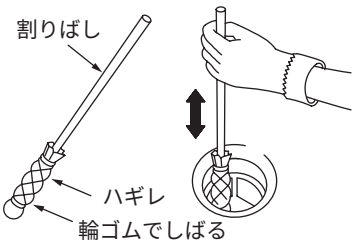
水栓金具のお手入れには使い古したストッキングがおすすめです。
水栓にぬらしたストッキングを巻きつけふくと、ストッキングの細かい繊維と伸縮性により、せまくてお掃除しにくい水栓裏もラクにお掃除できます。



排水口

■週に1度のお手入れ

割りばしにガーゼやハギレを巻き、輪ゴムでしばっておそうじ棒を作ります。おそうじ棒に浴室用洗剤を数滴付けてヌメリ等の汚れを落とし、水で洗い流します。



排水トラップ

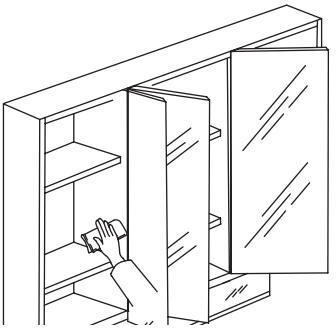
■月に1度のお手入れ

排水パイプ用洗浄剤を使用して、排水パイプ内のヌメリや汚れを取り除きます。
※排水パイプ用洗浄剤が排水口、排水パイプ以外に付かないように気をつけてください。変色や変形する場合があります。

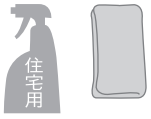
キャビネット、ミラーキャビネット（鏡を除く）

■週に1度のお手入れ

やわらかいきれいな布で水ぶきします。



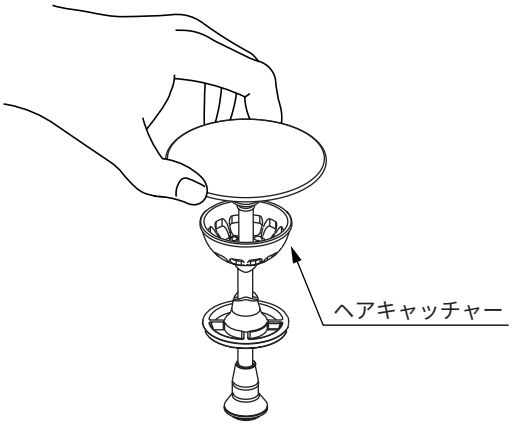
■汚れが目立つ場合



住宅用洗剤を付けたやわらかい布で、ホコリや汚れをふき取ります。

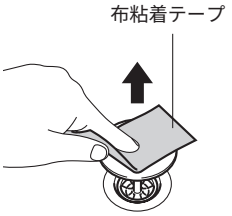
排水口（ヘアキャッチャー）

■排水栓を上方に引き抜きます。ヘアキャッチャー部分についているゴミを取り除き、排水栓を元通りはめ込みます。
■排水口内にぬめりがある場合は、浴室用洗剤をつけた歯ブラシ等でこすり落としてください。



ワンポイント

ヘアキャッチャーと軸の間に砂等がかむと、排水栓が上がらなくなることがあります。
そのときは、排水栓に布粘着テープを貼ったまま持ち上げて外してください。

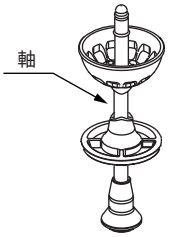


弁の外し方

軸を持ち、弁を引き抜きます。

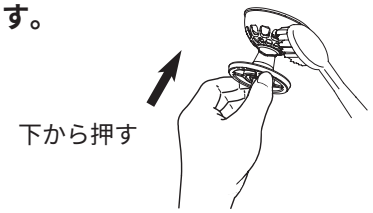
弁の付け方

“ カチッ ”と音がするまで弁を軸に差し込みます。



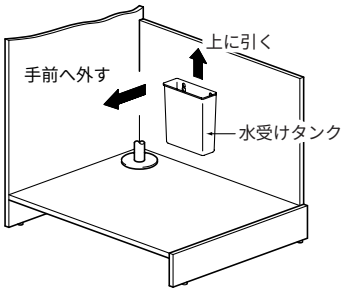
ワンポイント

●ラクとれヘアキャッチャーを押し上げて固定すると、ヘアキャッチャーが回らず、お手入れがしやすくなります。



水受けタンク

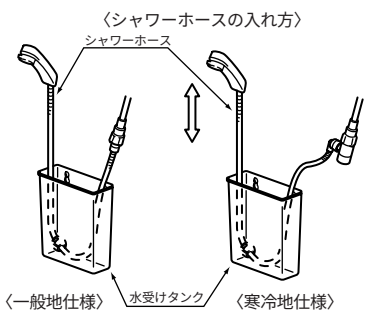
①水栓金具の吐水口を引出します。



②水受けタンクを上にずらし、手前に引いて取り外します。

③水受けタンクの中やその周辺を点検し、
水が落ちているようなら、乾いた柔らかい布でふきとります。
④水をふきとった後は、取り外し方と逆の手順で
タンクを元通りに取付けます。

⑤水栓金具の吐水口を元の位置に戻し、
シャワーホースを水受けタンクの中に入れます。

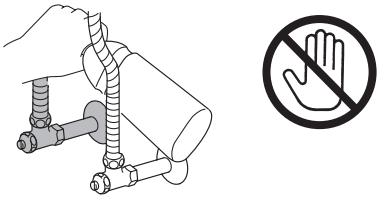


長くお使いいただくために

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



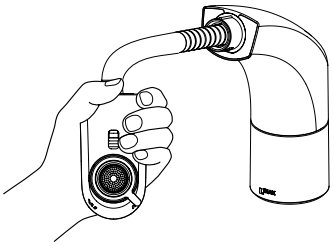
吐出量が少なくなったと感じたら

吐出口が詰まっている恐れがあります。吐出口のつまりは水栓の機能を低下させますので、水の出が悪くなったと感じたら、次の手順でお手入れしてください。
※詳細は水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

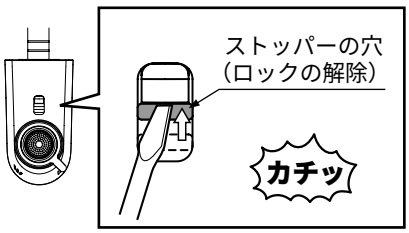
吐出口のお手入れ

SF-810SY(N)-KD3の場合

①ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。

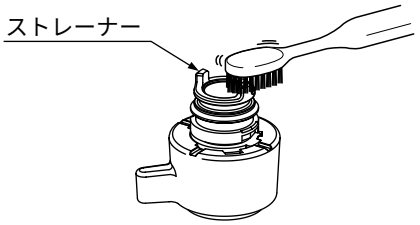


②小型のマイナスドライバーでストッパーの穴をスライドさせて、ロックを解除します。



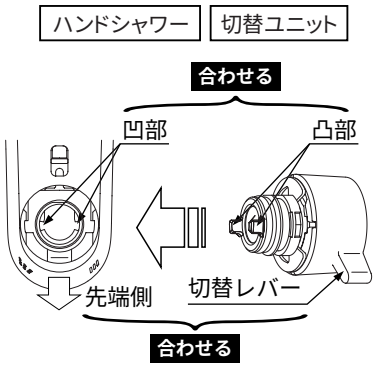
③切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

④取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。



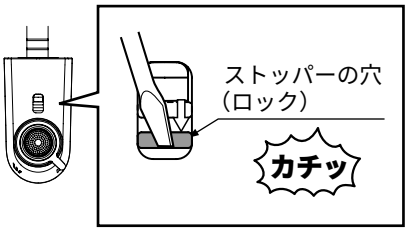
⑤切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。
※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。

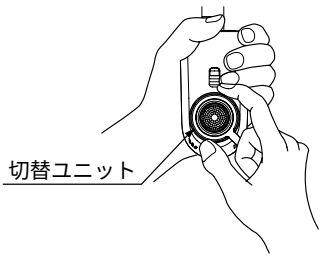


⑥②の逆の要領で、ストッパーに穴をスライドさせてロックします。

※固くてスライドできなければ、⑤に戻り、切替ユニットをしっかりと差し込んでからやり直してください。

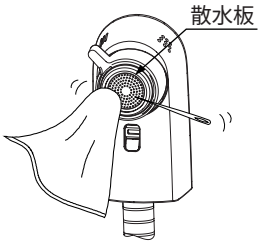


⑦切替ユニットを引っ張って、外れないことを確認してください。



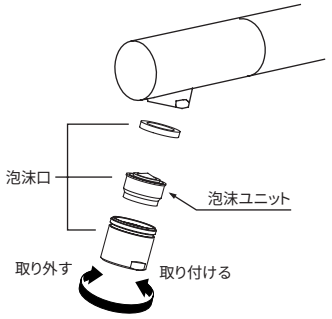
■散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。
また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。
年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。

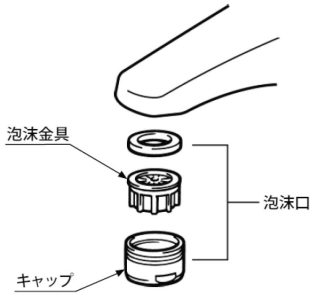


LF-E340SYC（N）-KD3、LF-E340SC（N）-KD4、LF-B340SYC（N）-KD3 LF-J345SYC（N）-KD、LF-E345SYC（N）-KDの場合

①泡沫口の紛失を防ぐため、洗面器の排水栓を閉じます。
②泡沫口を工具（スパナまたはモンキーレンチ）で左に回し、取り外します。
※水栓に直接工具を掛けると、キズがつく恐れがあります。必ず布を当てて工具を掛けてください。
③内部のユニットを水洗いしてゴミを取り除き、元どおりに取り付けます。



〈LF-E340SYC（N）-KD3〉
〈LF-E340SC（N）-KD4〉
〈LF-E345SYC（N）-KD〉



〈LF-B340SYC-KD3〉
〈LF-J345SYC（N）-KD〉

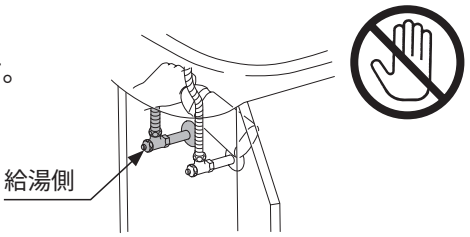
吐出量が適切でない（多い・少ない）と感じたら

水量を調節する

吐出量の調整は止水栓を操作して行ってください。

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要です。
※元の位置に戻さないと設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる場合があります。

① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）をマイナスドライバーで回して適量に調整します。

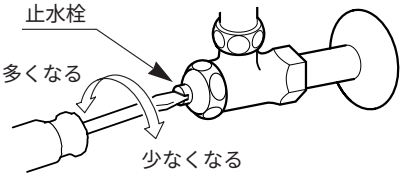
止水栓の操作

水量を多くする…… 調節部を左に回す
水量を少なくする…… 調節部を右に回す
閉める…… 調節部を右に止まるまで回す

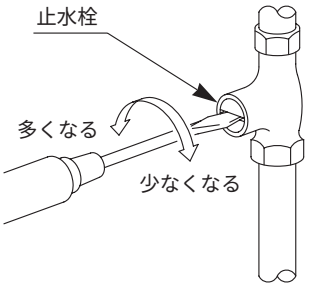
② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの吐出量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右）をマイナスドライバーで回して調節します。

③ 水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の中間）の位置で吐出し、水はねを確認します。

●壁給水の場合



●床給水の場合



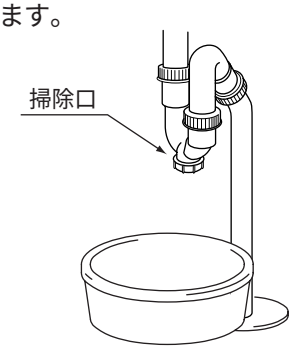
※上記はドライバー止水栓の例です。

ワンポイント

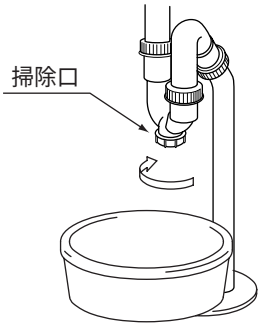
レバーハンドルを全開したときの水側または湯側の流量を調節します。水栓金具付属の取扱説明書をご覧の上、止水栓で流量を調節してください。

排水管のお手入れ（掃除口付きの場合）

①排水トラップの掃除口の真下に封水を受ける容器を置きます。



②掃除口を手で回して取り外し、ゴミを取り除きます。



③掃除口を元通り取り付けます。

④水栓から水を流し、排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

⚠ 注意

ナット類はしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

上記以外の締付ナット等に触れたり、外したりしないでください。

パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られた場合、必ず交換してください。

ワンポイント

排水トラップに水を流さないと、封水（下水からの臭いを遮断するため、管内にためておく水）が少なくなり、排水口から下水の臭いが漏れてくる恐れがあります。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず水を10秒以上流してください。

※掃除をしても排水がスムーズにならない場合は46ページをご覧のうえ、点検・修理を依頼してください。

蛍光灯とグローランプを交換する

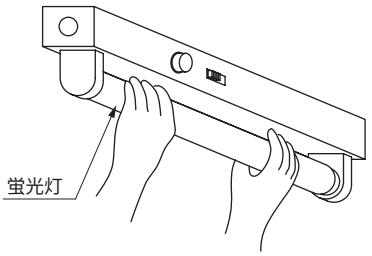
※以下は当社設定の照明器具（オプション）に関する説明です。
種類・仕様の異なる照明器具が取り付けられている場合もあります。

蛍光灯の交換

①照明スイッチを切ります。

②蛍光灯の両端を持ち、上側を手前に引くようにしながら「カチッ」と音がするまで回します。

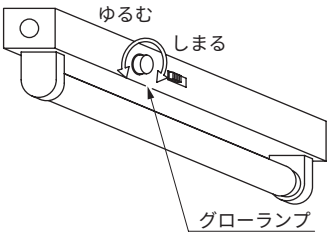
③そのまま下方向に引き抜くようにして取り外します。



グローランプの交換

①照明スイッチを切ります。
取外し……左回りに回します。（右図参照）
取付け……新しいグローランプを右回りに回します。

②照明スイッチを入れ、蛍光灯やグローランプが点灯することを確認します。スイッチを入れても蛍光灯が点灯しない場合は、「故障かな?と思ったら」 42ページ をご覧ください。



ランプ交換について

■適合する蛍光灯

- **蛍光灯　2面鏡：直管スタータ20形〈昼白色〉1本**
  3面鏡：直管スタータ20形〈昼白色〉1本
- **グローランプ：FG-1E**

※昼光色、白色も取付可能ですが、初期状態と色合いや明るさが異なります。

■取り付けできない蛍光灯

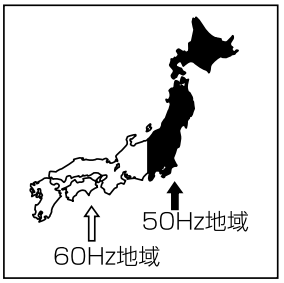
- **上記以外の直管スタータ形**
- **ラピッドスタート形**

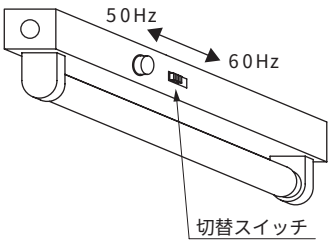
周波数の切替え

出荷時は50Hzに設定してあります。
必要な場合は周波数を切り替えてください。

①照明スイッチを切ります。
②Hz（ヘルツ）切替えスイッチを横にスライドさせます。

左:50Hz　　右:60Hz





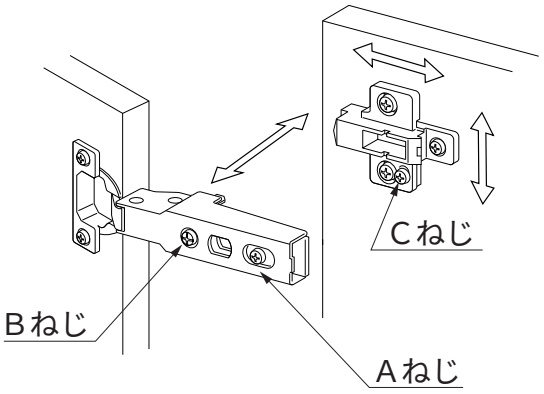
扉の開閉が滑らかでないと感じたら

扉の水平・垂直がきちんと出ていないと、スムーズに開閉しないことがあります。
扉がずれている場合は、蝶番（ヒンジ）で調節してください。

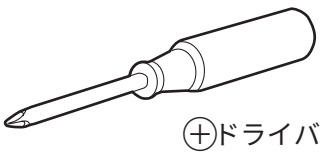
扉の調節（ミラーキャビネット）

■蝶番の各調節ねじについて

各ねじの調節量
Aねじ：右へまわす→手前へ1mm
　　左へまわす→後方へ1mm
Bねじ：左右±2mm
Cねじ：上下±2mm



■用意するもの



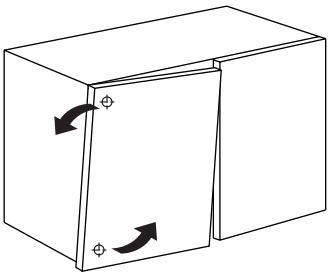
⊕ドライバー

■扉の先端が下がっているとき

扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

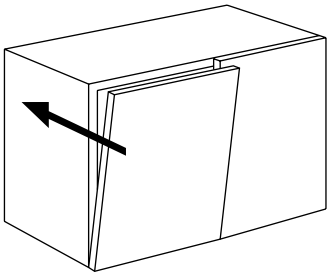
■扉の先端が上がっているとき

扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。



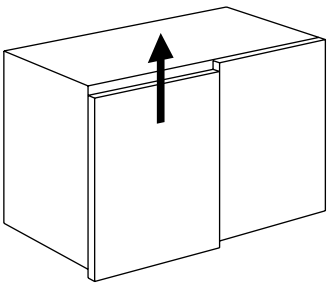
■扉と本体のすき間を調節する

蝶番のＡねじを左へ回し、ねじをゆるめすき間の調節をして、正しい位置にします。



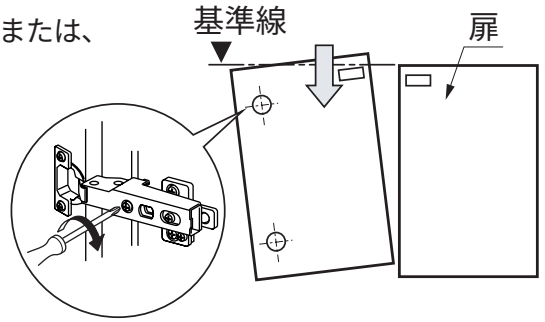
■扉の上下位置を調節する

上下の蝶番Ｃねじを左へ回し、ねじをゆるめ上下位置を調節して、正しい位置にします。
位置調節後Ｃねじを右へ回し、固定してください。



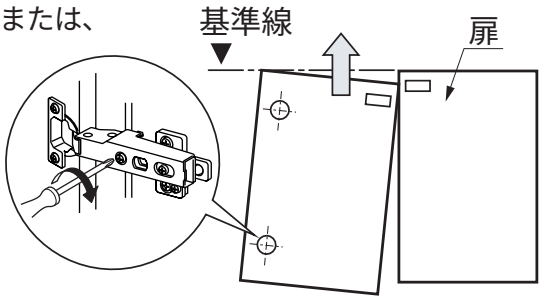
扉の先端が上がっているとき

① 扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、
扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
② 扉を閉めて確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



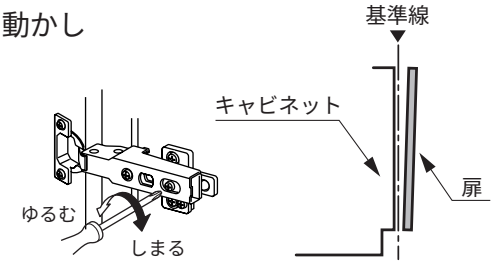
扉の先端が下がっているとき

① 扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、
扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
② 扉を閉めて確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



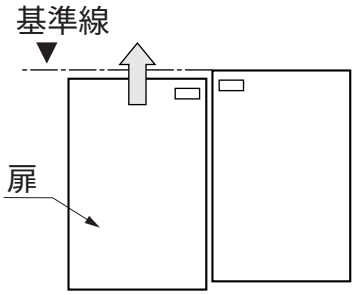
扉と側板のすき間が上下異なるとき

① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
（基準値：すき間2mm）
② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



扉の位置が上下異なるとき

① 扉上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



ワンポイント

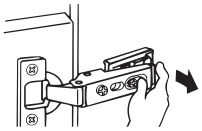
●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

■扉の調節（ベースキャビネット）

●扉の取外し方

丁番の尾の部分（矢印部）を下から押し上げると簡単に外れます。

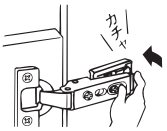
※取外す際は扉をしっかり支えながらおこない、扉やキャビネットを傷つけないように気をつけてください。



●扉の取付け方

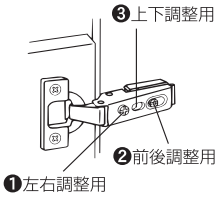
丁番内側のピンを、ピン受け部に確実にかみ合わせ、上からカチャと音がするまで押して固定します。

※ピンがピン受け部にしっかりかみ合っていないと、扉が脱落しますので、気をつけてください。



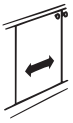
●丁番の調整

扉は左右や前後のズレがないように取付けています。お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番の❶❷❸のねじでおこなってください。



●左右調整

❶のねじを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番と反対側に移動します。

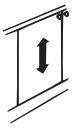


●前後調整

前後の傾きは❷のねじで調整できます。

●上下調整

上下に扉が片寄っている場合は❸のねじを緩めて座金の位置を調整します。（上下2ヶ所の丁番を調節してください。）



●扉にガタツキが発生した場合

❷・❸のねじを右側に回して硬く締付けます。

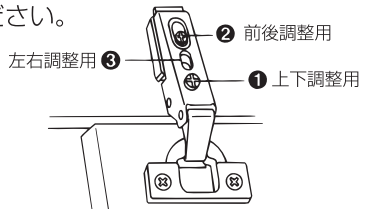
●調整後の確認

扉調整後は、全ての丁番の❷と❸のねじが締付けられていることを確認してください。

必ず実行

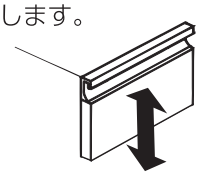
■スマートポケットの扉の調節

扉の位置は前後・左右共に調整済みですが、微調整をおこなう時は、❶・❷・❸のねじでおこなってください。



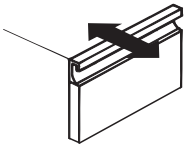
●扉の上下調整

❶のねじを左に回すと丁番側に移動し、右に回すと丁番と反対側に移動します。



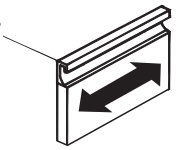
●扉の前後調整

前後調整は❷のねじでおこなってください。



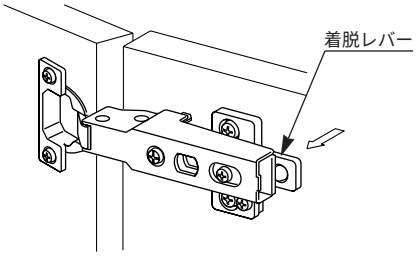
●扉の左右調整

上下の扉が片寄っている場合は左右の丁番共に❸のねじを緩めて丁番の位置を調整してください。

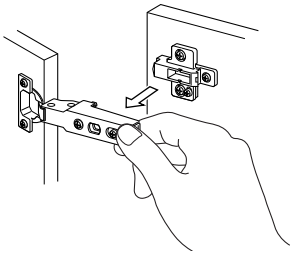


扉の取外し方法

①着脱レバーを矢印の向きに引っ張ります。



②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



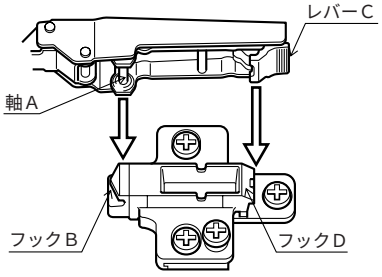
⚠ 注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。
※結合が不十分ですと、扉の落下によりケガをする恐れがあります。

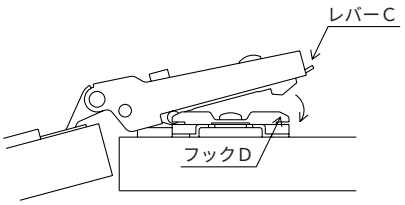
鏡扉の取り外し、取付は二人で行ってください。
※鏡扉が重いため危険です。

扉の取付け方法

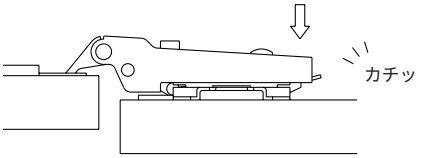
①蝶番の軸Aをフック Bに引っ掛けます。



②蝶番のレバーCをフックDに合わせます。



③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



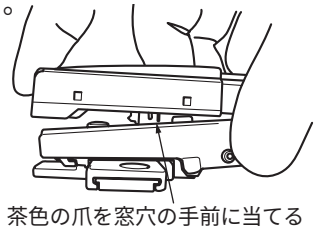
蝶番取付用ソフトサイレンスの着脱

ソフトサイレンスの取付け・取外しの際は、必ず保護用手袋を着用して行ってください。

■蝶番取付用ソフトサイレンスの着脱方法

●ソフトサイレンスの取付方法

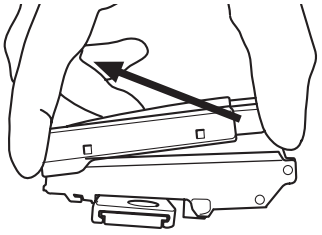
ソフトサイレンスの裏側に付いている茶色の爪を蝶番の窓穴の手前に当て上から押し、取り付けます。



茶色の爪を窓穴の手前に当てる

●ソフトサイレンスの取外し方法

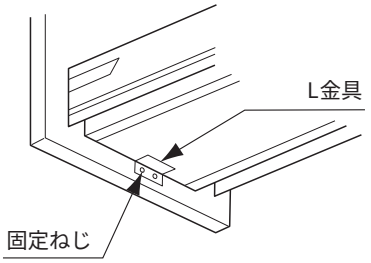
親指でソフトサイレンスの樹脂部を持ち上げるようにして引き、取り外します。



スチール製引出し（グレー色）タイプの調節方法

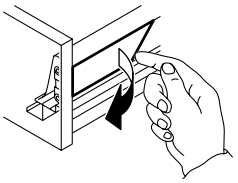
調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて（金具が動く程度）から行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。



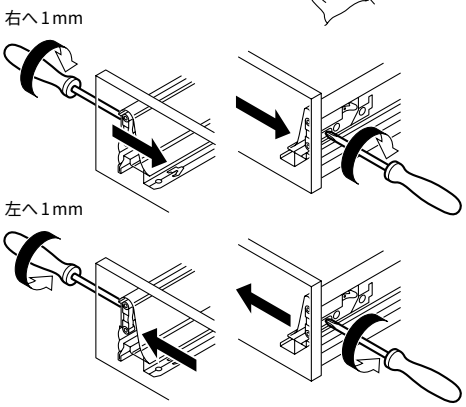
引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。



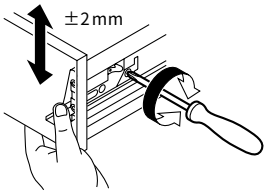
●左右の調節

右図のように、左右調節ねじを回し調節します。
・右へ移動する場合:ねじを右へ回す。
・左へ移動する場合:ねじを左へ回す。
※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲:左右方



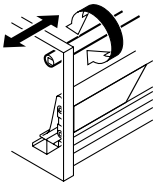
●上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。
・上へ移動する場合:ねじを右へ回す。
・下へ移動する場合:ねじを左へ回す。
※調節範囲:上下方向に各2mm（計4mm）程度。



●前板の傾き調節

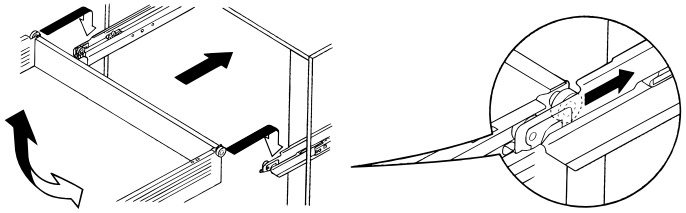
右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し、前板の傾きを調節します。
・前板を手前へ倒す場合:左へ（前板正面から見て）回す。
・前板を後方へ倒す場合:右へ（前板正面から見て）回す。
※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。



スチール製引出し（アイボリー色）タイプの調節方法

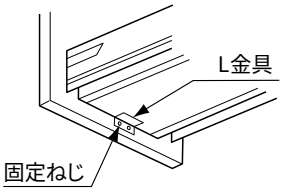
●引出しの取外し、取付け

完全に引出した状態で持上げ、そのまま引出してください。
取付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。



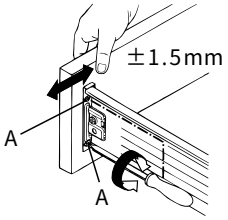
●鏡板の左右・上下・あおり調整する前に

L金具の固定ねじを緩めてください。調整後、締付けてください。



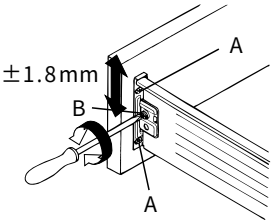
●鏡板の左右調整

引出し調整部のAのねじを回して鏡板の左右位置調整をおこなってください。



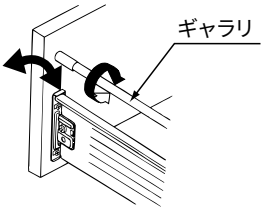
●鏡板の上下調整

調整部A、Bのねじを緩め、鏡板上下の位置調整をおこなってください。



●鏡板の前後傾き調整（ギャラリのある場合のみ）

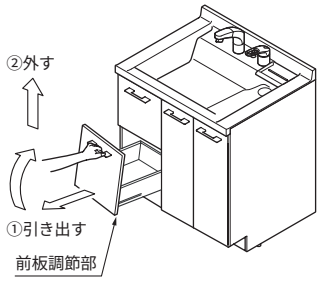
引出し左右のギャラリを回して鏡板前後の傾きを調整してください。



スチール製引出し（白色）の調節方法

●引出しの取外し方法

①引出しを最後まで引出します。
②引出しを持ち上げて外します。



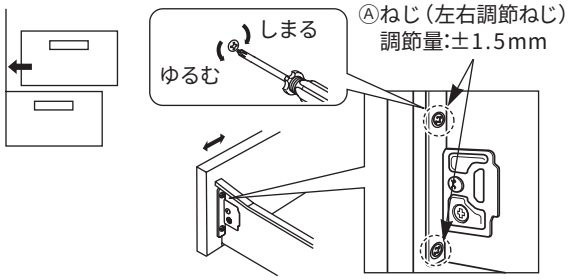
●引出しの取付け方法

①と逆の手順で取り付けます。

●引出しの調節方法

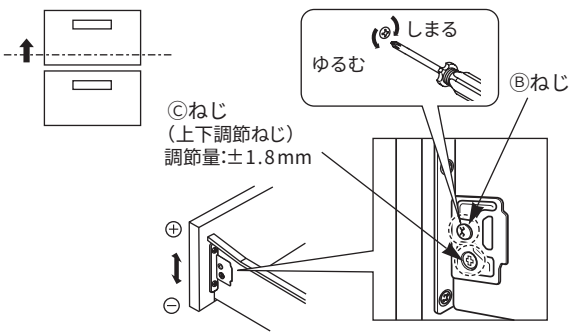
引出し前板が左右にずれているとき

① Ⓐねじをすべてゆるめます。
② 引出し前板を左右に動かして調節します。
③ ①でゆるめたⒶねじを固く締め付けます。



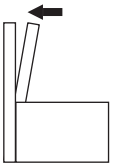
引出し前板が上下にずれているとき

① Ⓑねじをゆるめます。（左へ回す）
② Ⓒねじを回して調節します。
　上に動かす場合：ねじを右へ回す。
　下に動かす場合：ねじを左へ回す。
③ ①でゆるめたⒷねじを固く締め付けます。

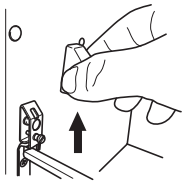


●傾きの調節（傾き調節金具付きの場合）

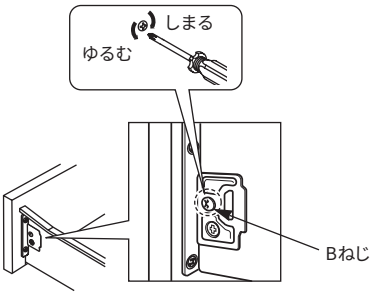
①カバーを上に引き抜いて外します。
②Bねじをゆるめます。（左へ回す）
③Dねじを回して調節します。
　手前に倒す場合:ねじを右に回す
　後ろに倒す場合:ねじを左に回す
④②でゆるめたBねじを固く締め付けます。
⑤①で外したカバーをはめ込みます。



①



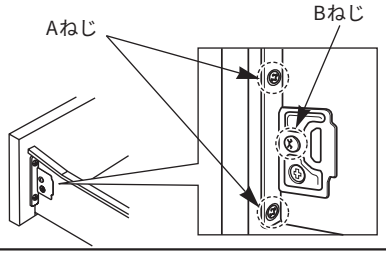
②



③

⚠ 注意

調節後、AねじBねじが固く締まっていることを確認してください。
※ねじがゆるんでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



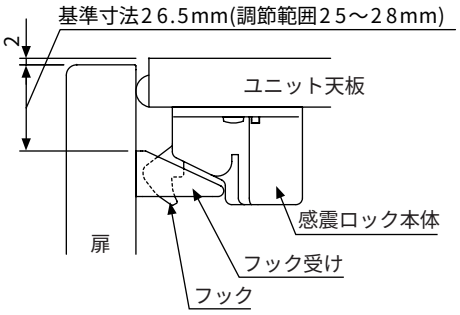
感震ロックの調節（オプション）

●オプション設定品のため、装備されていない場合があります。
●ミラーキャビネットが、壁面および床面に対して垂直・水平に設置されているか確認してください。
●ミラーキャビネットが、傾いていると、感震ロックが作動し、扉が開かなくなる恐れがあります。以下の要領で調節を行ってください。

取付位置

扉の調節後、感震ロック本体とフック受けが、右図のように正常な収まりになっているか確認します。基準寸法の位置にない場合は、扉の調節を行ってください。（30〜31ページ参照）

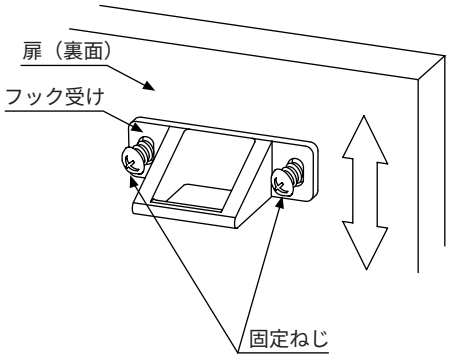
※フック受けが基準寸法より上の位置にあると、フック受けが本体に当たり、扉が閉まりにくい場合があります。
また、フック受けが基準寸法より下の位置にあると、ロック機能が十分に発揮されない場合があります。



調節方法

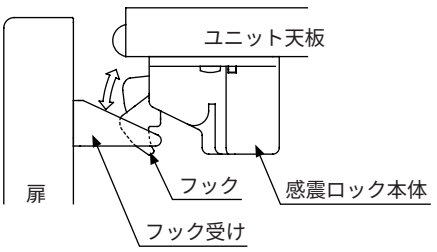
①フック受けを固定している固定ねじをゆるめ、長穴の範囲内（上下±1.5mm）で調節し、固定ねじを締め付けます。
※調節完了後の固定ねじの締付けは、固定ねじを空転させないようご注意ください。

②フック受けを調節してもスムーズに開閉できない場合は扉の調節（30〜31ページ参照）を行い、調節してください。



作動確認

調節後、扉を開くことにより、フックがフック受けに当たってスムーズに上がり、扉を閉めることにより、フックが完全に下りることを確認してください。



ロック解除方法

揺れや傾きを感知すると、フックが下りた状態でロック機能が作動します。揺れがおさまり、ユニットの傾きが3 以下になると、ロックは自動的に解除されます。

※ユニット本体と扉の間にびん等がはさまってしまった場合や、びん等が扉に寄りかかった状態では、扉が少し開いた状態でロックが維持されます。
扉を一度閉めてロックを解除し、扉に寄りかかった収納物等が倒れて落下しないように、ゆっくり扉を開いてください。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓の水抜き（寒冷地仕様）

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、下記の手順で必ず水抜きを実施してください。
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

シングルレバーシャワー水栓（SF-810SYN-KD3）の場合

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に回してを開ける。
※そのまま30秒間放置する。
※洗面器等で排出される水を受けてください。

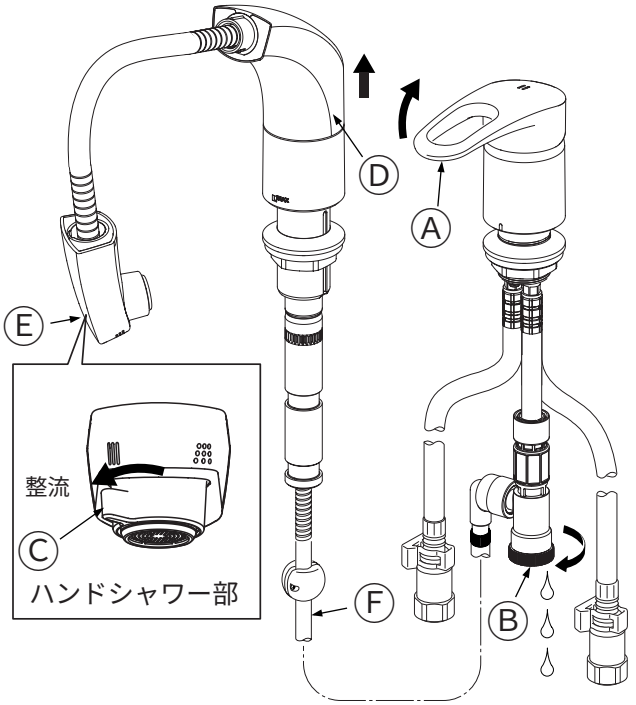
④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

⑤ 吐水口レバーⒸを整流に切り替える。

⑥ ガイド管Ⓓを引き上げ、ハンドシャワーⒺを引き出し、振って水をよく切る。

⑦ ホースⒻを水抜栓Ⓑより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑧ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉める。
※水抜完了後は忘れずに水抜栓Ⓑを閉めてください。



吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-J345SYCN-KD）の場合）

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

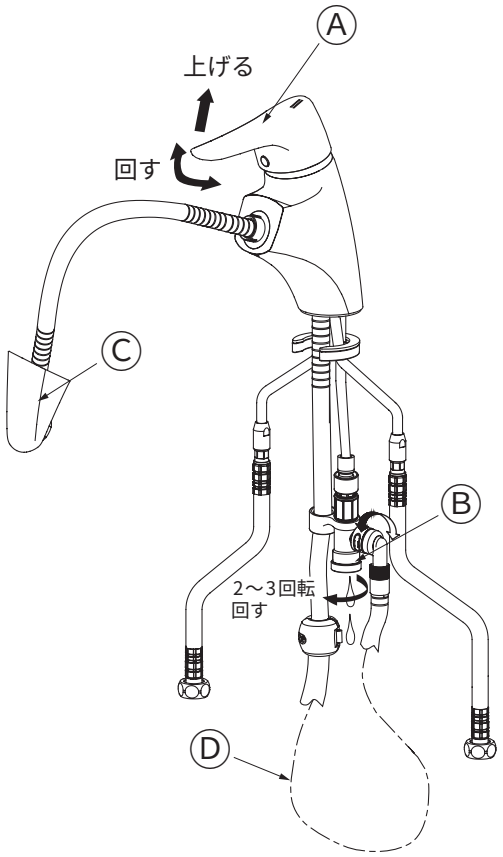
③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に2～3回転回して開ける。
※そのまま30秒間放置する。
※洗面器等で排出される水を受けてください。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

⑤ 泡沫吐水口Ⓒを振って水をよく切る。

⑥ 吐水口引出式シングルレバー混合水栓の場合はホースⒹを振って完全に水を抜く。

⑦ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉める。
※開けたまま放置するとレバーハンドルⒶを閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。
※水抜き完了後は忘れずに水抜栓Ⓑを閉めてください。



吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-E345SYCN-KD）の場合）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓓの下に洗面器をあてがった後、水抜栓Ⓓを矢印の方向に回して開ける。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

⑤ 吐水口部Ⓑを引き出し、振って水をよく切る。

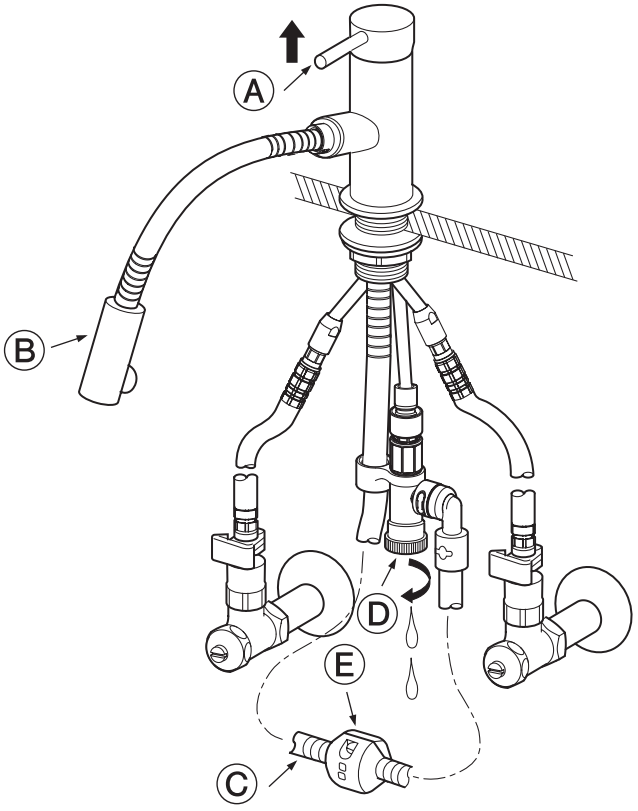
⑥ ホースⒸを水抜栓Ⓓより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑦ 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルⒶを閉める。

※開けたまま放置するとレバーハンドルⒶを閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓Ⓓを閉めてください。

※ホーストッパーⒺを外した場合は、元の位置に取り付けてください。



シングルレバー混合水栓（LF-E340SYCN-KD3）

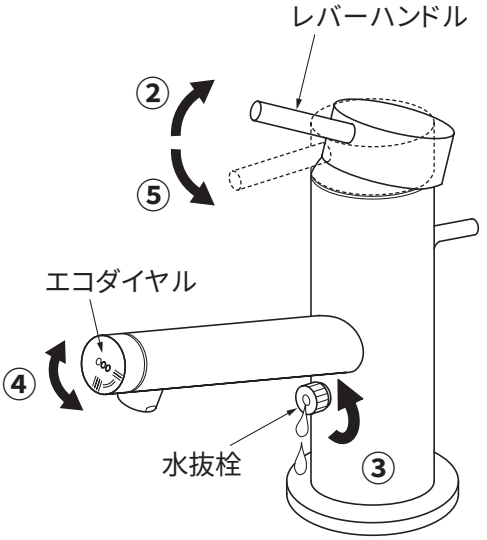
① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルを中央位置にあわせて上げます。
（水と湯の中間で全開にする。）

③ 水抜栓を下に回して開けます。

④ エコダイヤルを2～3回左右に回します。

⑤ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを閉めます。
※開けたまま放置すると、凍結してレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。
その場合は無理な操作をせず、通水または自然解凍してください。
※再通水前には水抜栓を閉めてください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■照　明

			参照ページ
Q 蛍光灯が暗い・ちらつく	A 蛍光ランプの寿命が切れかかっている	▶ 蛍光ランプを交換する	▶ P29
	A 地域の周波数にあっていない	▶ 地域の周波数に合わせて照明器具の設定を切り替える	▶ P29
	A グローランプの寿命が切れかかっている	▶ グローランプを交換する	▶ P29
	A 故障ではありません	▶ 点灯時のちらつきは蛍光ランプの特性です。点灯中でも電源の電圧が下がったり、周囲温度が低い場合などは蛍光ランプの放電が不安定になってちらつきを発生することがあります。	
Q 蛍光灯が点灯しない	A 蛍光ランプの寿命が切れかかっている	▶ 蛍光ランプを交換する	▶ P29
	A グローランプの寿命が切れかかっている	▶ グローランプを交換する	▶ P29
	A 蛍光ランプがソケットにしっかりはまっていない	▶ 蛍光ランプをソケットにしっかりはめる	▶ P29
	A グローランプがソケットにしっかりはまっていない	▶ グローランプをソケットにしっかりはめる	▶ P29
Q 扉が開かない	A 感震ロックがかかっている（感震ロック付きの場合）	▶ ロックを解除します	▶ P37

■鏡　扉

			参照ページ
Q 扉の先端が上がっている Q 扉の先端が下がっている Q 扉の側板のすき間が上下で異なる Q 扉の位置が上下異なる	A 蝶番の位置調節が合っていない	▶ 扉の蝶番を調節する	▶ P30〜32

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■キャビネット

			参照ページ
Q 扉がガタついている	A 蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	P30〜32
Q 扉の先端が下がっている		扉のずれを調節します	P30〜32
Q 扉の先端が上がっている			
Q 扉と本体のすき間が上下で異なる			
Q 扉の位置が上下異なる			
Q 引出しの開閉が滑らかでない	A 引出し前板がずれている	引出し前板のずれを調節します	P34〜36

■水　栓

Q 吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	A 止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P27
	A 浴室等で湯を使っている	他の場所で湯を使わないようにします	
Q 水が止まらない	A パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P46
Q 水を止めた後に、少しの間水が垂れる	A 構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	

■排水口

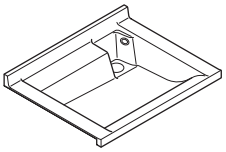
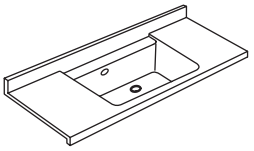
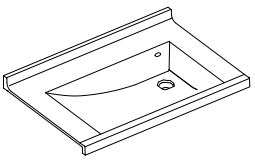
Q 水がたまらない	A 排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P46
Q 洗面器から水があふれる	A 止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P27
Q 排水しない、あるいは排水がスムーズでない	A 排水口が詰まっている	排水口あるいは排水トラップを掃除します	P28
Q 排水栓が開閉しない	A ゴミや砂がかんでいる	ヘアーキャッチャーを掃除します	P24

■排水トラップ

Q 漏水する	A 排水トラップの締付ナットがしっかり締め付けられていない	締付ナットをしっかり締めます	P28
	A パッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P46

■仕様

（こちらは標準仕様です。特注により内容が変わる場合があります。）

カウンター			
タイプ	LJボウルカウンター	ZJボウルカウンター	FJボウルカウンター
品番			
材質	人造大理石 （ポリエステル系樹脂）		
サイズ 注：ベースキャビネットをセットした（幅×奥行き×高さ）	(800～1800)×605×850	(800～1500)×600×850	(900～1800)×600×850
カラー	プレーンネオホワイト	スーパーホワイト	ピュアホワイト
ボウル容量	11L	18L	9L
付属品	ウエットパレット	—	—

化粧台共通項目	
本体	木組構造（合板、パーティクルボード、MDF）
扉カラー	高圧メラミン化粧パーティクルボード（光沢仕上げ） EBコート紙パーティクルボード

化粧台キャビネット				
タイプ	開きタイプ	引出しタイプ	フルスライドタイプ	スマートポケット
以下オプション品				
ストック収納	1個	1個	1個	1個
ヘルスメータースペース収納	1個	1個	1個	1個

ミラーキャビネット			
タイプ	3面鏡	2面鏡	1面鏡
本体	木組構造（合板、パーティクルボード、MDF）		
鏡	防湿鏡		
ジョイナー	アルミニウム		
カラー	アイボリー		
付属部品	棚板6枚	棚板4枚	棚板2枚
以下オプション品			
くもり止めヒーター	中央鏡1枚	右鏡（1枚）	対応なし
照明付き	蛍光管　20Wタイプ1本 グロースターター仕様	蛍光管　20Wタイプ1本 グロースターター仕様	対応なし
定格電圧周波数	AC100V　50Hz/60Hz(定格消費電力 24W)	AC100V　50Hz/60Hz(定格消費電力 24W)	対応なし
コンセント	2個口：使用電力は合計1300Wまで		対応なし
ソフトサイレンス	各扉		
感震ロック	各扉		
ドライヤーフック	材質：ステンレス 中央部棚板下　1ヶ	材質：ステンレス 右収納部棚板下　1ヶ	対応なし
ティッシュホルダー	材質：アルミ 右収納部　1ヶ	対応なし	材質：アルミ　1ヶ

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」42ページを参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

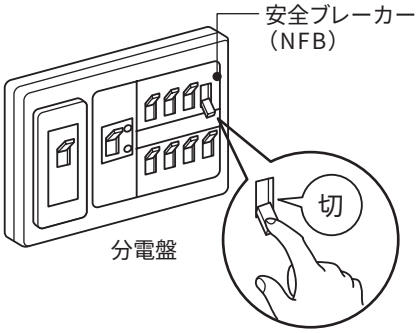
- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●異常を感じたとき

上記の場合そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

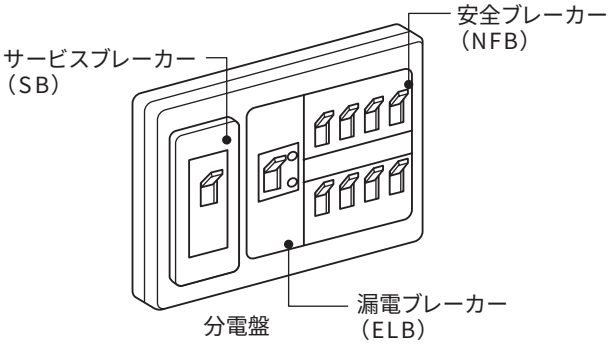
⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。
※異常のまま運転を続けると火災や漏電・漏水の原因になることがあります。

ミラーキャビネット周辺で異臭や異常音がする場合は、電気機器のスイッチ及び分電盤の安全ブレーカーを切り、速やかに修理を依頼してください。
※異常のまま使用を続けると火災や漏電の原因になることがあります。



洗面室の電気機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、速やかに修理を依頼してください。
※洗面室の電気機器などに異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの原因となることがあります。



保証書をご覧ください

保証書（裏表紙）は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常等については保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●水栓や排水トラップのパッキン等の消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←1ページの「品番を調べる」参照
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←42ページの「故障かな？と思ったら」参照
●ご訪問希望日

※お客さまからご連絡頂く氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客様の個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、またはLIXIL修理受付センターに連絡してください。

●お求めの取扱店（保証書に表示）
●LIXIL修理受付センター
TEL 0120-1794-11
受付時間 9:00～20:00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番：ソレスタ-M		
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ	取扱店名
	おところ	
	おでんわ （　　）　　ー	TEL　（　　）　　ー

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
(2) 指定業者や取付説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆など)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9：00～18：00
　　土日・祝日　9：00～17：00（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
　下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
LIXIL 修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11　受付時間　9：00～20：00

FAX 0120-1794-56

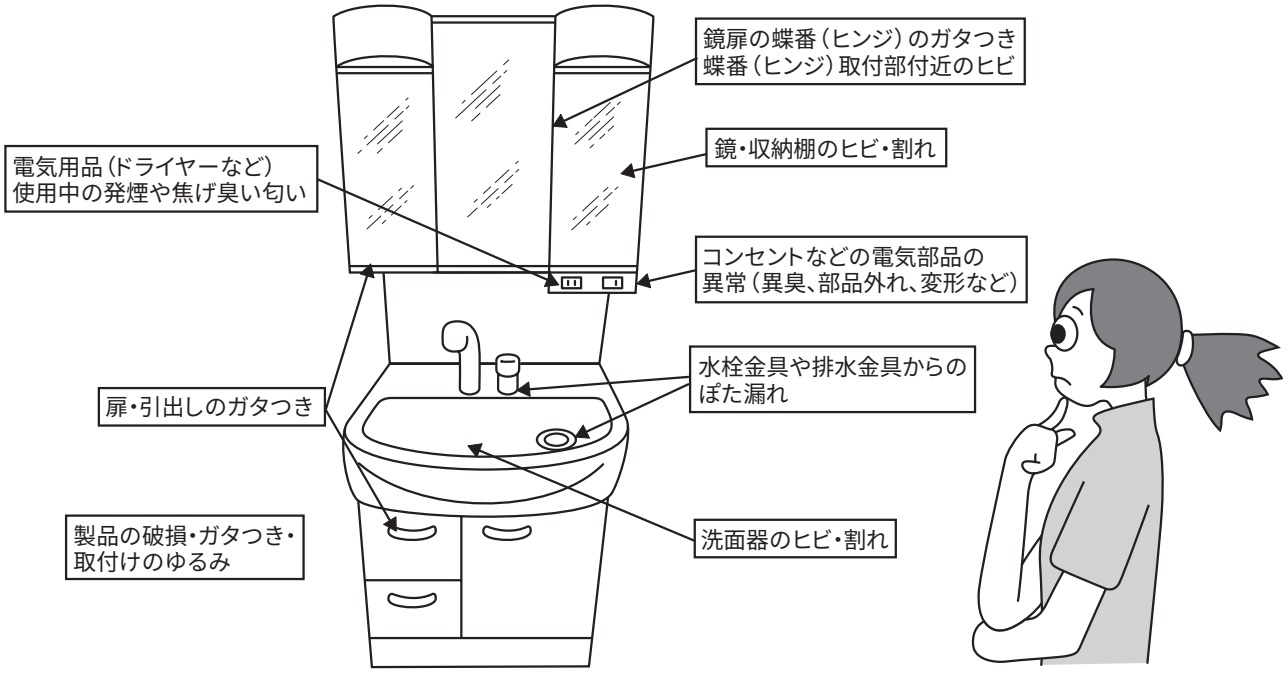
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。



7224405　Z1トリアツカイセツメイショ

袋:PE